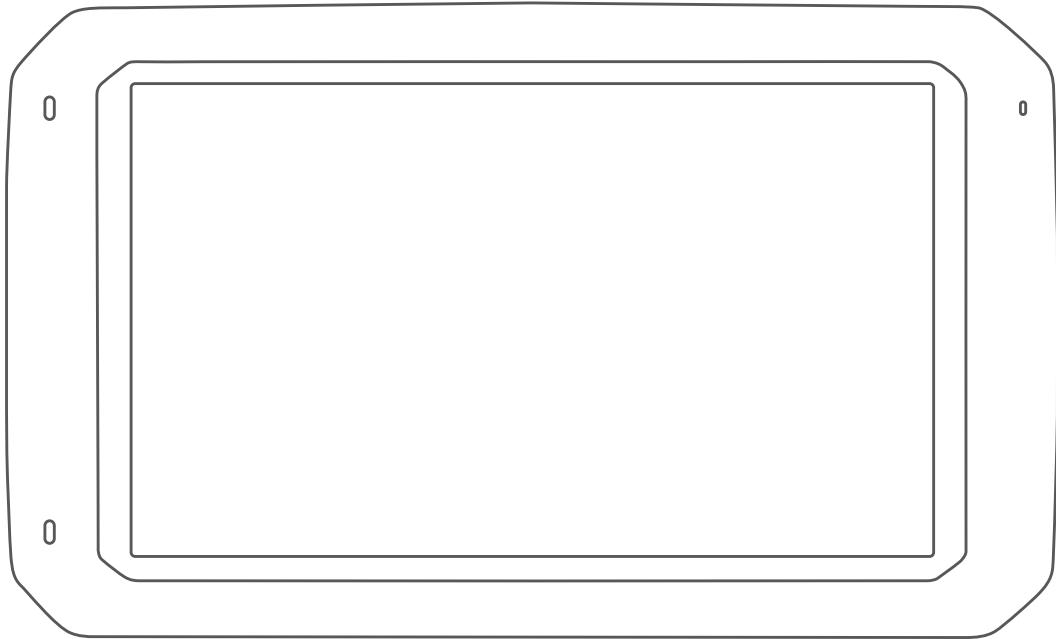


GARMIN[®]



CAMPER 785 / RV 785 / RV 700

操作マニュアル

© 2019 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザー や組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、および Garmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Garmin Drive™、Garmin Express™、および myTrends™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

ACSI™は Auto Camper Service International Holding B.V.の商標です。Android™は Google Inc.の商標です。Apple®、iPhone®、および Mac®は米国およびその他の国における Apple Inc.の登録商標です。Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。Foursquare®は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。HISTORY®および H ロゴは、A+E Networks の商標であり、米国およびその他の国で保護されています。All rights reserved. 許可を得て使用。microSD®および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。PlanRV™は TruckDown Info International, Inc.の商標です。TripAdvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

目次

はじめに	1
Garmin®の概要	2
車両への Garmin デバイスの取り付けと電源の供給	3
デバイスの電源をオンまたはオフにする	4
GPS 信号を捕捉する	4
メイン画面	5
アプリの起動	5
ショートカットをホーム画面に追加する	5
通知の表示	5
ステータスバーアイコン	6
タッチスクリーンを使用する	6
画面の輝度を調整する	6
車両プロファイル	6
車両プロファイルを追加する	7
乗用車プロファイル	7
車両プロファイルの切り替え	7
車両プロファイルを編集する	7
プロパンタンクを追加する	8
ダッシュカメラ	8
カメラの位置を合わせる	8
ダッシュカメラのコントロール	8
ダッシュカメラによる録画	9
ダッシュカメラの録画の保存	9
オーディオの録音をオンまたはオフにする	9
ダッシュカメラギャラリーの使い方	9
ダッシュカメラのビデオをコンピュータに保存する	10
スマートフォンでビデオを表示する ..	10
スマートフォンを使用したビデオの削除	10
ビデオのトリミングとエクスポート	10
ダッシュカメラのメモリーカードの交換	11
ダッシュカメラのメモリーカードのフォーマット	11
ドライバーへの注意喚起の機能とアラート	12

ドライバーアラートを有効または無効にする	12
赤信号カメラとスピードカメラ	13
高度運転者支援システム	13
前方衝突警告システム	13
車線逸脱警告システム	14
警告およびアラート記号	15
制約に関する警告	15
道路状況に関する警告	16
アラート	16

位置の検索と保存を行う	16
検索バーを使用して位置を検索する ..	17
住所を検索する	17
場所検索の結果	18
検索エリアを変更する	19
地図上の場所検索結果	19
地図を使用して検索エリアを変更する	20
ジャンル別施設	20
カテゴリーを入力して位置を検索する	20
キャンプ場の検索	20
RV サービスを検索する	21
国立公園を検索する	21
HISTORY ジャンル別施設 (POI) を検索する	21
Foursquare	22
TripAdvisor	22
場所内のジャンル別施設にナビゲーションする	23
検索ツール	23
交差点を検索する	23
座標を使用して位置を検索する	23
駐車場	23
現在の場所近くの駐車場を検索する	24
指定した場所近くの駐車場を検索する	24
駐車場の色分けと記号について	24
最近検索した位置を表示する	24
最近検索した場所のリストを消去する	24
現在地情報を表示する	24
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する	24
現在地への道順を表示する	25
ショートカットを追加する	25

ショートカットを削除する	25	この先の都市や出入口サービスの表示	35
位置を保存する	25	トリップ情報	35
位置を保存する	25	地図上にカスタマイズされたトリップ情報を表示する	35
現在地を保存する	25	トリップ情報ページを表示する	36
保存した位置を編集する	25	軌跡ログを表示する	36
保存した位置にカテゴリーを割り当てる	26	トリップ情報をリセットする	36
保存した位置を削除する	26	進行方向の交通事故を表示する	36
ルートに従う	26	地図上に交通渋滞情報を表示する ..	36
ルート	26	交通事故情報を検索する	36
ナビゲーションを開始する	26	地図をカスタマイズする	36
地図を使用してナビゲーションを開始する	27	地図レイヤーをカスタマイズする ..	36
帰宅する	27	地図データフィールドを変更する ..	37
地図上のルート	28	地図表示方法を変更する	37
アクティブ車線案内	28		
方向転換と方向指示を表示する	29		
地図にルート全体を表示する	29		
目的地に到着する	29		
目的地の近くの駐車場	29		
アクティブルートを変更する	30		
ルートに場所を追加する	30		
ルートを形成する	30		
迂回路を検索する	30		
ルート探索方法を変更する	31		
ナビゲーションを停止する	31		
推奨ルートを利用する	31		
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	31		
ルート上の交通遅延を回避する	31		
有料道路を回避する	31		
有料ステッカーを回避する	32		
道路の回避機能	32		
環境ゾーンを回避する	32		
カスタム回避	32		
直行ルートをナビゲーションする	33		
地図を使用する	33		
地図ツール	34	[トラフィック]	41
地図ツールを表示する	34	スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する	41
この先	34	トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する	41
この先の場所を表示する	34	トラフィックを有効にする	42
[この先] カテゴリーをカスタマイズする	35		
次の都市まで	35		
		音声コマンド	42
		ウェイクアップフレーズを設定する ..	42
		音声コマンドを有効化する	42
		音声コマンドのヒント	42

音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する	43	サウンドと通知の設定	50
ミュートの手順	43	サウンドと通知の音量を調整する ..	50
アプリケーションを使用する	43	位置情報サービスを有効または無効にする	50
デバイスのマニュアルの表示	43	テキスト言語を設定する	50
天気予報を表示する	43	日付と時刻の設定	50
別の都市周辺の天気を表示する ..	44	デバイス設定	51
気象観測レーダーを表示する	44	設定を初期化する	51
気象警報を表示する	44	データと設定をリセットする	51
道路状況を確認する	44		
サービス履歴をログに記録する	44		
サービスカテゴリーを追加する ..	44		
サービスカテゴリーを削除する ..	45		
サービスカテゴリーの名前を変更す る	45		
サービスの記録を削除する	45		
サービスの記録を編集する	45		
トリッププランナー	45		
トリップを計画する	45		
トリップの場所を編集および並べ替え る	46		
トリップの経路にあるアトラクション の発見	46		
トリップのルート探索オプションを変 更する	46		
保存されているトリップをナビゲーシ ョンする	46		
アクティブルートを編集および保存す る	47		
photoLive トラフィックカメラ	47		
photoLive トラフィックカメラの表示 と保存	47		
地図上に photoLive トラフィックカメ ラを表示する	47		
トラフィックカメラを保存する ..	47		
前のルートと目的地を表示する ..	47		
設定	48		
ナビゲーション設定	48		
地図および車両設定	48		
[ルート探索の環境設定] の設定 ..	48		
運転者支援の設定	48		
トラフィック設定	49		
ダッシュカameraの設定	49		
Bluetooth 無線技術を有効にする ..	49		
ワイヤレスネットワークに接続する ..	49		
ディスプレイ設定	50		
		サウンドと通知の設定	50
		サウンドと通知の音量を調整する ..	50
		位置情報サービスを有効または無効にする	50
		テキスト言語を設定する	50
		日付と時刻の設定	50
		デバイス設定	51
		設定を初期化する	51
		データと設定をリセットする	51
デバイス情報	51		
E ラベルの規制およびコンプライアンス 情報の表示	51		
仕様	52		
デバイスを充電する	52		
デバイスのメンテナンス	52		
Garmin サポートセンター	52		
地図やソフトウェアの更新	52		
Wi-Fi ネットワークの使用による地図 とソフトウェアの更新	53		
Garmin Express による地図とソフト ウェアの更新	54		
デバイスのお手入れ	55		
カメラレンズのクリーニング	55		
外側ケースのクリーニング	55		
タッチスクリーンのクリーニング ..	55		
盗難防止	55		
デバイスを再起動する	55		
デバイス、マウント、吸着カップを取り 外す	56		
吸着カップからマウントを取り外 す	56		
フロントガラスから吸着カップを取り 外す	56		
付録	56		
バックアップカメラ	56		
有線のバックアップカメラを接続す る	56		
BC™ 35 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリング する	57		
バックアップカメラを表示する ..	57		
ワイヤレスディスプレイに接続する ..	57		
データ管理	58		
メモリカードについて	58		

地図およびデータ用のメモリカードを挿入する	58
デバイスをコンピュータに接続する	58
コンピュータからデータを転送する	58
電源ケーブル	59
デバイスを充電する	59
車両電源ケーブルのヒューズを交換する	59
RV 充電ステーションアクセサリの取り付け	60
デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	61
マウントからデバイスを取り外す ..	61
吸着カップからマウントを取り外す ..	61
フロントガラスから吸着カップを取り外す ..	61
追加の地図を購入する	61
アクセサリーを購入する	61
トラブルシューティング	61
吸盤がフロントガラスに取り付けられない	61
運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない	62
デバイスで衛星信号を受信できない ..	62
デバイスを車両で充電できない	62
充電しても電池の電力が長持ちしない	62
録画したビデオがぼやけている	62
メモリカードが劣化して、交換する必要がある	63
録画したビデオが途切れる / 不完全 ..	63
デバイスがスマートフォンに接続されません	63
一部のスマートフォン機能が動作しない ..	64
索引	65

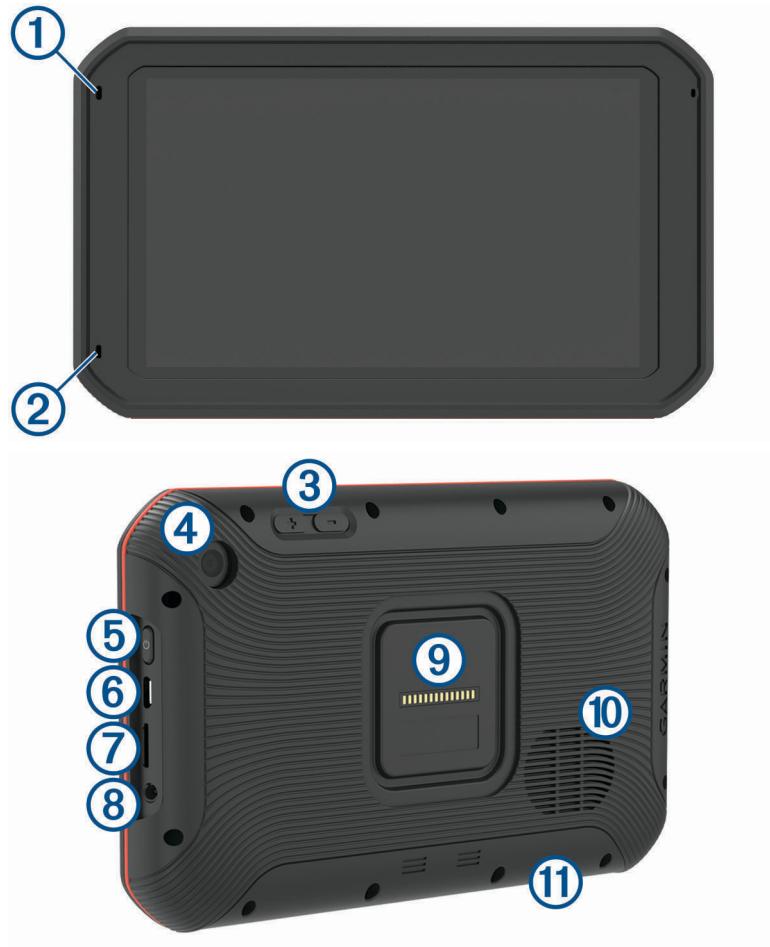
はじめに

△ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

- ・ メモリカードを挿入します ([ダッシュカメラのメモリーカードの交換](#), 11 ページ)。
- ・ デバイスの地図とソフトウェアを更新します ([地図やソフトウェアの更新](#), 52 ページ)。
- ・ 車両にデバイスを取り付け、電源に接続します ([車両への Garmin デバイスの取り付けと電源の供給](#), 3 ページ)。
- ・ ダッシュカメラの位置を合わせます ([カメラの位置を合わせる](#), 8 ページ)。
- ・ GPS 信号を捕捉します ([GPS 信号を捕捉する](#), 4 ページ)。
- ・ 音量を調整し ([Garmin® の概要](#), 2 ページ)、ディスプレイの輝度を調整します ([画面の輝度を調整する](#), 6 ページ)。
- ・ キャンパーの車両プロファイルを設定します ([車両プロファイルを追加する](#), 7 ページ)。
- ・ 目的地までナビゲーションします ([ナビゲーションを開始する](#), 26 ページ)。

Garmin®の概要



- ① ハンズフリー通話用マイク
- ② ダッシュカム録音用マイク
- ③ 音量調節
- ④ カメラ
- ⑤ 電源キー
- ⑥ Micro USB 電源およびデータポート
- ⑦ 地図およびデータメモリカードスロット
- ⑧ 3.5 mm オーディオジャック
- ⑨ 14 ピンコネクタ付き磁気マウントインターフェイス
- ⑩ スピーカー

⑪ アクセスパネルの下のダッシュカーメモリーカード (ダッシュカーメモリーカードの交換, 11 ページ)

車両への Garmin デバイスの取り付けと電源の供給

⚠ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるので、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下で、磁石はペースメーカーインシユリンポンプなど、体内医療機器と干渉する可能性があります。デバイスやマウントはこれらの医療機器に近づけないでください。

注記

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下で、磁石はラップトップコンピュータのハードドライブなど、一部の電子デバイスに損傷を与える可能性があります。デバイスやマウントが電子デバイスの近くにある場合は、十分注意してください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- 車両電源ケーブル ① をマウントの mini-USB ポートに接続します。



- マウント ② が吸盤 ③ にはまるまで押し込みます。

注：マウントと吸盤は、パッケージ内で既に組み立てられている場合があります。

マウントの Garmin ロゴは、右側が上を向く必要があります。吸盤のヒンジ付きアームを閉じると、マウントと吸盤を簡単に接続できます。マウントと吸盤はしっかりと吸着する必要があります。状況により、これらを接続するために強く押す必要があります。

- 吸盤をフロントガラスに取り付け、レバー ④ をフロントガラス方向に倒します。

- デバイスの後部を磁気マウントに載せます。

- 次の中からオプションを選択します。

- 電源ケーブルに車両の電源プラグが付いている場合は、車両の電源コンセントに差し込んでください。
- 電源ケーブルに裸線のコネクタがある場合は、ケーブルに付属の配線図に従って、ケーブルを車両の電源に接続してください。

デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キー①を押すか、デバイスを電源に接続します。



- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、電源オフを選択します。

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- デバイスの電源をオンにします。
- ステータスバーの📍表示を確認します。位置情報サービスが有効になっていない場合は有効にします。
- 必要な場合には、高層ビルや樹木から離れて、空を見渡すことができる開けた場所に移動します。
デバイスが現在位置を特定するまで、ナビゲーションマップの上部には衛星の捕捉が表示されます。

メイン画面

注：カスタマイズした場合、ホーム画面のレイアウトが異なる場合があります。



- ① 下にスワイプすると、通知が表示されます。
- ② 下に 2 回スワイプすると、設定やバックライトの輝度をすばやく変更できます。
- ③ 長押しすると、壁紙をカスタマイズしたり、ウィジェットをホーム画面に追加したりできます。
- ④ 選択してアプリドロワーを開きます。アプリドロワーには、お使いのデバイスにインストールされている全アプリのショートカットが表示されます。

アプリの起動

ホーム画面には、よく使うアプリのショートカットが表示されます。アプリドロワーでは、お使いのデバイスにインストールされている全アプリが、2つのタブに分類されて表示されます。航法タブには、ナビゲーション、配送、サービス時間の記録に役立つ Garmin アプリが表示されます。ツールタブには、通信やその他の作業に役立つアプリが表示されます。

アプリの起動オプションを選択する：

- ・ ホーム画面からアプリのショートカットを選択します。
- ・ ●、タブ、アプリの順に選択します。

ショートカットをホーム画面に追加する

- 1 を選択します。
- 2 アプリタブを選択すると、他のアプリが表示されます。
- 3 アプリケーションを長押しして、ホーム画面上の位置にドラッグします。

通知の表示

- 1 画面上部から下にスワイプします。
通知のリストが表示されます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 通知に記載されているアクションまたはアプリを起動するには、通知を選択します。
 - ・ 通知を閉じるには、通知を右にスワイプします。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報表示します。

	位置情報サービスが有効になっています。
	Bluetooth®技術が有効になっています。
	Bluetooth デバイスに接続しています。
	Wi-Fi®ネットワークに接続されています (ワイヤレスネットワークに接続する, 49 ページ)。
	アクティブな車両プロファイル。下に 2 回スワイプして、車両プロファイル設定の表示を選択します。
	バッテリー充電レベル

タッチスクリーンを使用する

- 画面をタップしてアイテムを選択します。
- 画面を指でドラッグまたはスワイプしてパンまたはスクロールします。
- 画面上で 2 本の指でつまむとズームアウトします。
- 画面上で 2 本の指を広げるとズームインします。

画面の輝度を調整する

このデバイスは、周辺光センサーを使用して、車両の状況に応じて画面の明るさを自動的に調整します。またユーザーは、通知パネルまたは設定メニューを使用して、手動で輝度を調整することもできます。

1 次の中からオプションを選択します。

- 画面の上部から下に 2 回スワイプして、通知パネルのクイック設定を展開します。
- 設定 > 表示 > 輝度レベルを選択します。

2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

車両プロファイル

⚠️ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロファイルに基づいて計算されます。有効化された車両プロファイルは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

キャンパーの車両プロファイルを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関して入力したその他の特性に基づいて、ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

車両プロファイルを追加する

お使いのデバイスで使用する各キャンパーの車両プロフィールを追加してください。

- 1 車両を選択します。
- 2 車両タイプを選択します：
 - ・ キャンパーに完全に接続してモーターホームを追加するには、モーターホームを選択します。
 - ・ トレーラーを牽引するモーターホームを追加するには、トレーラー付きモーターホームを選択します。
 - ・ 乗用車の後ろに牽引するキャンパーを追加するには、トレーラー付き車両を選択します。
- 3 必要に応じて、トレーラータイプを選択します：
 - ・ 標準連結装置で牽引するキャンパーを追加するには、トラベルトレーラーを選択します。
 - ・ フィフスホイール連結装置で牽引するキャンパーを追加するには、フィフスホイールトレーラーを選択します。
注：このトレーラータイプは利用できない地域もあります。
 - ・ 標準連結装置で牽引するボートトレーラーを追加するには、ボートトレーラーを選択します。
 - ・ 標準連結装置で牽引するトレーラーを追加するには、トレーラーを選択します。
- 4 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。

車両プロフィールを追加した後で、プロフィールを編集して、追加の詳細情報を入力できます（[車両プロファイルを編集する](#)、7ページ）。

乗用車プロファイル

乗用車プロファイルは、トレーラーのない自動車での使用を目的としたロード済みの車両プロファイルです。乗用車プロファイルを使用している間は、デバイスが普通車のルートを計算するため、大型車のルート指定は使用できません。乗用車プロファイルを使用している間は、大型車に固有の機能および設定が一部使用できません。

車両プロファイルの切り替え

別の車両プロファイルにいつでも手動で切り替えることができます。

- 1 次の中からオプションを選択します。
 - ・ を選択します。
 - ・ 画面上部から下に2回スワイプして、やなどの車両プロファイルアイコンを選択します。
- 2 車両プロファイルを選択します。
測定値や重量とともに車両プロファイル情報が表示されます。
- 3 選択を選択します。

車両プロファイルを編集する

基本的な車両プロファイル情報を変更したり、最高速度などの詳細情報を車両プロファイルに追加できます。

- 1 車両を選択します。
- 2 編集する車両プロファイルを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 車両プロファイル情報を編集するには、を選択し、編集するフィールドを選択します。
 - ・ 車両プロファイルの名前を変更するには、>>プロファイル名の変更を選択します。
 - ・ 車両プロファイルを削除するには、>>削除を選択します。

プロパンタンクを追加する

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。

車両プロファイルにプロパンタンクを追加すると、デバイスは、ルートに影響する可能性があるプロパンタンクの制限のある区域の通過を回避します。また、デバイスは、プロパンタンクを遮断する必要のある区域に近づいたときにも警告を出します。

1 車両プロフィールから、 > プロパンタンク > タンクを追加の順に選択します。

2 プロパンタンクの重量を入力し、保存を選択します。

ダッシュカメラ

カメラの位置を合わせる

警告

運転中にカメラの位置合わせを行わないでください。

ダッシュカメラを取り付けたり配置を変更するたびに、その位置合わせを行う必要があります。

1 ダッシュカメラを選択します。

2 デバイスを傾けてカメラの位置を合わせます。

十字線がまっすぐに向いて、水平線が画面の上下の中央にある必要があります。

ヒント：吸盤がダッシュカメラの視野に現れる場合は、ヒンジ付きアームを吸盤の方に動かす必要があります。

ダッシュカメラのコントロール

注記

一部の管轄区域では、このデバイスの使用を規制または制限している場合があります。このデバイスの使用を予定している管轄区域で、適用される法およびプライバシーの権利について把握し準拠することは、お客様の責任となります。

ダッシュカメラは、ダッシュカメラアプリまたは通知パネルでコントロールできます。

 > ダッシュカメラを選択するか、画面上部から下にスワイプします。

	ダッシュカメラの録画を保存します。
	ダッシュカメラの録画を停止します。
	ダッシュカメラの録画を開始します。
	録音を有効にします。
	録音を無効にします。

ダッシュカメラによる録画

- ダッシュカメラで録画を続けている場合、録画はそのまま継続され、最も古い未保存のビデオが上書きされます。
- ダッシュカメラの録画は、ダッシュカメラコントロール ([ダッシュカメラのコントロール, 8 ページ](#))を使用して開始 / 停止できます。
- 自動撮影オプション ([ダッシュカメラの設定, 49 ページ](#))を有効にしている場合、デバイスが電源に接続されたマウントを介して給電を受けると、ダッシュカメラは自動的に録画を開始します。マウントがイグニッションスイッチに連動した電源に接続されている場合、この機能は非常に便利です。
- デバイスをマウントから取り外したり、マウントが電源を失ったりすると、ダッシュカメラは 15 秒後に自動的に録画を停止します。

ダッシュカメラの録画の保存

新しいビデオで上書きされないように、録画済みのビデオの一部を保存できます。

- ダッシュカメラの録画中に、 > **ダッシュカメラ** >  を選択します。
を選択する前、選択中、および選択した後のビデオ映像が保存されます。
- を再び選択すると、保存される録画時間が延長されます（オプション）。
メッセージにより、保存されるビデオ映像の量が示されます。

メモリカードの記録容量には限りがあります。ビデオ録画を長期保存するには、録画後にコンピュータやその他の外部記憶装置に転送する必要があります（[ダッシュカメラのビデオをコンピュータに保存する, 10 ページ](#)）。

オーディオの録音をオンまたはオフにする

注記

一部の管轄区域では、このデバイスによる録音が規制または禁止されている場合があります。このデバイスの使用を予定している管轄区域で、適用される法およびプライバシーの権利について把握し準拠することは、お客様の責任となります。

このデバイスでは、ビデオの録画中に内蔵のマイクを使用してオーディオを録音できます。オーディオの録音はいつでもオンまたはオフにすることができます。

-  > **ダッシュカメラ** を選択します。
- または  を選択します。

ダッシュカメラギャラリーの使い方

ダッシュカメラギャラリーを使用して、録画されたダッシュカメラビデオを表示したり、不要なビデオを削除したり、未保存のビデオ映像からクリップを保存したりできます。

注：ビデオの再生中は、ビデオの録画が停止されます。

-  > **ダッシュカメラギャラリー** > **OK** を選択します。
- 保存済みのビデオを選択するか、**未保存**を選択します。
ビデオの再生が自動的に始まります。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 保存されていないビデオ映像のクリップを保存するには、スライダを使用して保存するビデオセグメントを選択し、を選択します。
デバイスは、スライダのオレンジ色のポインタで前後を指定されたビデオセグメントを保存します。
 - ビデオを削除するには、を選択します。

ダッシュカメラのビデオをコンピュータに保存する

ビデオは、カメラのメモリーカードの DCIM フォルダに MP4 形式で保存されます。メモリーカードまたはデバイスをコンピュータに接続すると、ビデオを表示したり転送したりできます（デバイスをコンピュータに接続する、58 ページ）。

ビデオが複数のフォルダに分類されます。

100EVENT: デバイスによるインシデント検出時に自動保存されたビデオが格納されます。

101SAVED: ユーザーが手動で保存したビデオが格納されます。

104UNSVF: 未保存のビデオ映像が格納されます。未保存のビデオのストレージ容量が不足すると、最も古い未保存のビデオが上書きされます。

スマートフォンでビデオを表示する

スマートフォンでビデオを表示するには、まず Garmin デバイスと Garmin Drive™ アプリをペアリングする必要があります（スマートフォンとペアリングする、37 ページ）。

注：ビデオを表示している間は、デバイスが録画を停止し、アラートが無効になります。

1 スマートフォンの Garmin Drive アプリで、映像をレビューを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 保存したビデオを表示するには、保存されている映像カテゴリーからファイルを選択します。
- 保存されていない新しいビデオ映像を表示するには、一時的映像カテゴリーからビデオを選択します。

スマートフォンを使用したビデオの削除

1 スマートフォンに保存されているビデオのリストを表示しているときに、選択を選択します。

2 1つ以上のファイルを選択します。

3 削除を選択します。

ビデオのトリミングとエクスポート

ビデオをエクスポートする前に、ビデオの長さをカットして不要な映像を削除できます。

1 Garmin Drive アプリで、映像をレビューを選択します。

2 ビデオを選択します。

3 ビデオ進行状況バーのハンドルを左右にドラッグして、ビデオの長さをカットします。

4 エクスポートを選択します。

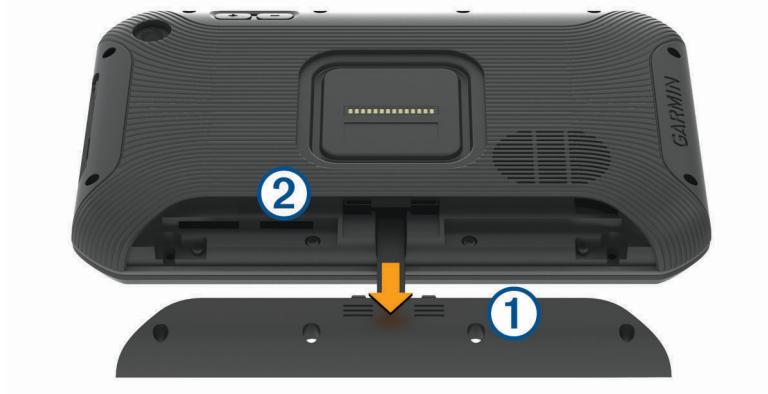
注：ビデオをエクスポートするときは、アプリを最前面に置く必要があります。

カットされたビデオがスマートフォンにエクスポートされます。

ダッシュカメラのメモリーカードの交換

ダッシュカメラのメモリーカードを交換することで、記憶容量を増やしたり耐用年数に達したカードを交換したりできます。ダッシュカメラには、4~64 GB、速度レーティングクラス 10 以上の microSD[®] メモリーカードが必要です。

- マークが付いた 2 か所の部分を押し、背面パネル ① を下にスライドさせて開きます。



- メモリーカードスロット ② の場所を見つけます。
- 既存のメモリーカードを力ちつと音がするまで押して放します。
既存のメモリーカードがスロットから出てきます。
- 既存のメモリーカードをスロットから取り出します。
- スロットに新しいメモリーカードを挿入します。
- 力ちつと音がするまでカードを押し込みます。
- パネルを元に戻し、パネルがカチッと所定の位置に収まるまで上にスライドさせます。

ダッシュカメラのメモリーカードのフォーマット

ダッシュカメラには、FAT32 ファイルシステムでフォーマットしたメモリーカードが必要です。デバイスを使用すると、このファイルシステムでカードをフォーマットできます。

メモリーカードの耐用期間を延ばすには、少なくとも 6 か月に 1 回はメモリーカードをフォーマットしてください。新品のメモリーカードでも、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていない場合はフォーマットする必要があります。

注：メモリーカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて削除されます。

- ❶ > 航法 > ダッシュカメラギャラリーの順に選択します。
- ❷ > メモリーカードのフォーマットの順に選択します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

△ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garminは、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受けける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

学校: デバイスが通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンに関する制限速度（ある場合）を表示します。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

制限速度変更: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

踏切: デバイスが通知音を再生し、この先の踏切を示します。

動物出没: デバイスが通知音を再生し、この先の動物出没エリアを示します。

カーブ: デバイスが通知音を再生し、道路のカーブを示します。

渋滞: 渋滞に速い速度で近づくと、デバイスが通知音を再生し、渋滞が発生していることを示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります（[\[トランジット \]](#), 41 ページ）。

接地の危険あり: 車両が接地する可能性のある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

つづら折れ: つづら折れのリスクがある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

道幅減少: 車両が通過するには狭すぎる道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

急な下り坂: 急な下り坂に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

州および国の境界: 州または国の境界に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

プロパンをオフにする: プロパンをオフにしなければならないエリアに接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

前方衝突警告: デバイスは、前方の車両との安全な車間距離を維持していない場合に警告を出します。（[\[前方衝突警告システム \]](#), 13 ページ）

車線逸脱警告: デバイスは、意図せず車線境界を越えている可能性があることを検出すると、警告を出します（[\[車線逸脱警告システム \]](#), 14 ページ）。

ドライバーアラートを有効または無効にする

数種類のドライバーアラートを有効または無効にすることができます。

- 1 設定 > 航法 > 安全運転支援 > ドライバーアラートの順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、ライブの赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

高度運転者支援システム

このデバイスは高度運転支援システム (ADAS) を搭載しています。このシステムは、内蔵のダッシュカメラを使用して、運転環境に関する警告やアラートを出します。

安全運転支援設定 (運転者支援の設定, 48 ページ) で、各高度運転支援システム機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

前方衝突警告システム

⚠️ 警告

前方衝突警告システム (FCWS) 機能は情報提供のみを目的としているため、お客様はあらゆる道路および運転状況を監視し、すべての交通規制に従い、常に安全な運転の判断を行う義務があります。FCWS は、接近する車両を音声で警告する際にカメラを利用します。そのため、見通しが悪い状況では正しく機能しない場合があります。詳細については、garmin.com/warnings を参照してください。

注：この機能は、すべての地域およびすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

FCWS 機能では、前方の車両との安全な車間距離を維持していないことをデバイスが検出したときに警告を出します。このデバイスは、GPS を使用して車速を判定し、車速に基づいて推定される安全な追従距離を計算します。FCWS は、車速が 48 km/h (30 mph) を超えている場合に自動的に作動します。

前方の車両との車間距離が近すぎることをデバイスが検出すると、デバイスは警告音を発して、画面に警告が表示されます。



Forward Collision Warning

前方衝突警告システムの性能に関するヒント

前方衝突警告システム (FCWS) の性能は、複数の要因により影響を受けます。条件によっては、FCWS 機能で前方の車両を検出できないことがあります。

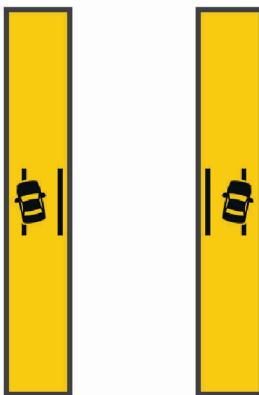
- FCWS 機能は、車速が 50 km/h (30 mph) を超えた場合にのみ作動します。
- FCWS 機能は、車載カメラの視界が雨、霧、雪、太陽やヘッドライトの眩しさ、または暗さにより遮られると、前方の車両を検出できないことがあります。
- カメラの位置合わせが不適切な場合、FCWS 機能は正しく機能しないことがあります ([カメラの位置を合わせる, 8 ページ](#))。
- FCWS 機能では、40 m (130 ft.) よりも遠くの車両や、5 m (16 ft.) よりも近くの車両を検出できないことがあります。
- カメラの配置設定が、車両の高さまたは車両内のデバイスの配置を正しく示していない場合、FCWS 機能は正しく動作しないことがあります ([カメラの位置を合わせる, 8 ページ](#))。

車線逸脱警告システム

⚠️ 警告

車線逸脱警告システム (LDWS) 機能は情報提供のみを目的としているため、お客様はあらゆる道路および運転状況を監視し、すべての交通規制に従い、常に安全な運転の判断を行う義務があります。LDWS は、接近する車両を音声で警告する際にカメラを利用します。そのため、見通しが悪い状況では正しく機能しない場合があります。詳細については、garmin.com/warnings を参照してください。

LDWS 機能では、無意識に車線境界をはみ出している可能性をデバイスが検出したときに警告を出します。たとえばこのデバイスは、塗装された車線境界をはみ出した場合に警告を出します。LDWS 機能は、車速が 64 km/h (40 mph) を超えている場合にのみ警告を出します。警告は画面の左側または右側に表示され、どちらの車線境界をはみ出したのかを示します。



注：最高の LDWS 性能を得るには、取り付け位置オプションを設定して、車両内のデバイスの位置を指定する必要があります。

カメラの配置を設定する

このデバイスは、フロントガラスまたはダッシュボードの左、中央、または右に取り付けることができます。最高の LDWS 性能を得るには、取り付け位置オプションを設定して、車両内のデバイスの位置を指定する必要があります。

1 設定 > ダッシュカメラ > 取り付け位置 > 水平位置の順に選択します。

2 デバイスの位置を選択します。

車線逸脱警告の性能に関するヒント

車線逸脱警告システム (LDWS) の性能は、複数の要因により影響を受けます。状況によっては、LDWS 機能で車線逸脱を検出できないことがあります。

- LDWS 機能は、車速が 65 km/h (40 mph) を超えている場合にのみ警告を出します。
- カメラの位置合わせが不適切な場合、LDWS 機能は正しく動作しないことがあります。
- カメラの配置設定が、車両の高さや車両内でのデバイスの配置を正しく示していない場合、LDWS 機能は正しく動作しないことがあります（カメラの位置を合わせる、8 ページ）。
- LDWS 機能では、車線区画線をはつきりと連続して視認できる必要があります。
 - 車線区画線が雨、霧、雪、大きな影、太陽やヘッドライトの眩しさ、道路工事、またはその他の視覚的な障害物により遮られている場合、車線逸脱が検出されないことがあります。
 - 車線区分線の位置が合っていない、欠落している、またはかなり摩耗している場合、車線逸脱が検出されないことがあります。
- LDWS 機能では、極端に広い、狭い、または曲がりくねった道路では、車線逸脱が検出されないことがあります。

警告およびアラート記号

⚠ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

潜在的な危険や道路状況をお知らせするために、地図上またはルート案内に警告およびアラート記号が表示される場合があります。

制約に関する警告

	車高
	重量
	長さ
	幅
	トレーラーの高さ
	トレーラーの重量
	トレーラーの長さ
	トレーラーの幅
	ボートトレーラー禁止
	キャンパー禁止
	トレーラー禁止
	プロパン禁止
	左折禁止
	右折禁止
	Uターン禁止

道路状況に関する警告

	接地の危険あり
	つづら折れ
	道幅減少
	急カーブ
	急な下り坂
	樹木の張り出し

アラート

	重量検査所
	モーターホームについては検証されていない道路

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

メインメニューで目的地検索を選択します。

- デバイス上のすべての場所をすばやく検索するには、**Q 検索の入力** (検索バーを使用して位置を検索する, 17 ページ)。
- 住所を検索するには、**住所** (住所を検索する, 17 ページ)。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索するには、**カテゴリー** (カテゴリーを入力して位置を検索する, 20 ページ)。
- 別の都市や地域の周辺を検索するには、現在の検索エリアの横にある  を選択します (検索エリアを変更する, 19 ページ)。
- 保存済み位置情報を表示および編集するには、**保存済み** (位置を保存する, 25 ページ)。
- 最近検索結果から選択した場所を表示するには、**最近表示した項目** (最近検索した位置を表示する, 24 ページ)。
- RV 駐車場およびキャンプ場を検索するには、**全てのキャンプ場**を選択します (キャンプ場の検索, 20 ページ)。
- Foursquare® のジャンル別施設を参照、検索、チェックインするには、**Foursquare** (Foursquare のジャンル別施設を検索する, 22 ページ)。
- TripAdvisor® のジャンル別施設とレビューを参照および検索するには、**TripAdvisor** (TripAdvisor, 22 ページ)。
- HISTORY® のジャンル別施設、写真、情報を参照および検索するには、**History®** (HISTORY ジャンル別施設 (POI) を検索する, 21 ページ)。
- 国立公園を検索して、公園地図を参照するには、**国立公園** (国立公園を検索する, 21 ページ)。
- 特定の地理座標に移動するには、**座標** (座標を使用して位置を検索する, 23 ページ)。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで **検索の入力**を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - ・ 入力したテキストを使用して検索するには、を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 住所を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

場所検索の結果

デフォルトでは、場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。



- | | |
|---|---|
| ① | 場所を選択してオプションメニューを表示します。 |
| ② | i 選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。 |
| ③ | P 選択して、場所の近くの駐車場を検索します。 |
| ④ | Y 選択して、場所への代替ルートを表示します。 |
| ⑤ | 出発 出発 選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。 |
| ⑥ | 地図 地図 選択して、検索結果を地図上に表示します。 |

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 現在の検索エリアの横にある を選択します ①。



- 3 検索エリアを選択します。

- 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。

選択した検索エリアが の横に表示されます。目的地検索メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

地図上の場所検索結果

場所検索の結果をリストではなく地図に表示できます。

場所検索の結果から、 を選択します。最も近い場所が地図の中心に表示され、選択した場所の基本情報が地図の下部に表示されます。



- | | |
|------|--------------------------------------|
| ① | 地図をドラッグして、追加の検索結果を表示します。 |
| ② | 追加の検索結果。選択して、別の場所を表示します。 |
| ③ | 選択した場所の概要。選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。 |
| ④ 出発 | 選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。 |
| ⑤ | 選択して、検索結果をリストに表示します。 |

地図を使用して検索エリアを変更する

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 地図を新しい検索エリアにドラッグします。
- 4 こちらから検索を選択します。

ジャンル別施設

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって 4 か所を含むクリックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・画面右側のクリックサーチリストから、目的地を選択します。
クリックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - ・必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

キャンプ場の検索

目的地検索 > 全てのキャンプ場を選択します。

施設のあるキャンプ場を検索する

利用可能な施設に応じて RV 駐車場やキャンプ場を検索できます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 PlanRV™ Parks、The Caravan and Motorhome Club、ACSI™などの RV 駐車場およびキャンプ場検索プロバイダを選択します。
注：製品モデルによっては、一部の検索プロバイダが利用できないことがあります。
- 3 必要な場合は、施設別にフィルタリングを選択し、1 つ以上の施設を選択して、保存を選択します。
- 4 位置を選択します。

iOverlander™ ジャンル別施設 (POI) を検索する

注記

お客様には、キャンプ場や施設に関する適用規則を理解して順守する責任があります。

デバイスには、キャンプ場、修理サービス、宿泊施設など、オーバーランドに役立つ施設を検索できる iOverlander ジャンル別施設が含まれています。

- 1 目的地検索 > iOverlander を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。

Ultimate Campgrounds ジャンル別施設 (POI) を検索する

注：この機能を利用できない地域もあります。

お使いのデバイスには、近くのキャンプ場を検索できる、Ultimate Campgrounds ジャンル別施設が含まれています。

- 1 目的地検索 > Ultimate Public Campgrounds を選択します。
- 2 必要に応じて、検索フィルタを選択し、1つ以上の検索フィルタを選択して、検索を選択します。
- 3 位置を選択します。

RV サービスを検索する

注：この機能を利用できない地域もあります。

RV の修理やレッカー移動などのサービスを提供している最寄の場所を検索できます。

目的地検索 > PlanRV™ Services の順に選択します。

国立公園を検索する

北米または米国の地図が付属するデバイスマodelには、米国の国立公園の詳細情報も含まれています。国立公園または国立公園内の場所へのナビゲーションすることができます。

- 1 目的地検索 > 国立公園の順に選択します。
国立公園が、現在地から近い順に一覧で表示されます。
- 2 検索の入力を選択して、公園名のすべてまたは一部を入力して、結果を絞り込みます（オプション）。
- 3 国立公園を選択します。
公園内の機能や施設のカテゴリーが公園名の下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 公園までのナビゲーションを開始するには、出発を選択します。
 - ・ 公園の詳細情報、機能、施設を確認するには、①を選択します。
 - ・ 公園内の場所をすばやく検索するには、公園名の下のリストからカテゴリーを選択して、場所を選択します。

国立公園の機能と施設を探索する

北米の製品モデルでは、国立公園内で利用できる主要な場所や設備に関する詳細情報を調べたり、公園内の特定の場所に移動できます。例えば、キャンプ場、ランドマーク、ビジターセンター、人気のアトラクションなどを検索できます。

- 1 場所の検索結果から、国立公園を選択して、①を選択します。
- 2 この公園を詳しく見るを選択します。
公園の機能と施設のカテゴリーが一覧で表示されます。
- 3 カテゴリーを選択します。
- 4 場所を選択し、出発を選択します。

HISTORY ジャンル別施設 (POI) を検索する

注：この機能は、すべての製品モデルおよびすべての地域で利用できるわけではありません。

このデバイスには HISTORY ジャンル別施設が登録されています。これにより、歴史的建造物、文化財、博物館、歴史的に重要な事件が起こった場所などを検索して、詳細を見ることができます。

- 1 目的地検索 > History®の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 H を選択すると、その場所の写真と歴史の概要が表示されます。

Foursquare

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスには Foursquare の数百万のジャンル別施設が事前にダウンロードされており、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

互換性のあるスマートフォンの Garmin Drive アプリを使用して、Foursquare アカウントに接続することができます。これにより、Foursquare 場所の詳細の表示、場所へのチェックイン、およびオンライン Foursquare データベースでジャンル別施設の検索が可能です。

Foursquare アカウントに接続する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 37 ページ)。

- 1 スマートフォンで、Garmin Drive アプリを開きます。
- 2  > Foursquare > ログインを選択します。
- 3 Foursquare ログイン情報を入力します。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。Garmin Drive アプリを使用して Foursquare アカウントに接続しているとき、検索では、Foursquare オンラインデータベースから最新の結果が得られ、Foursquare ユーザーアカウントからはカスタマイズされた結果が得られます ([Foursquare アカウントに接続する](#), 22 ページ)。

目的地検索 > Foursquare を選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

この機能を使用する前に、お使いのデバイスが Garmin Drive アプリを使用して Foursquare アカウントに接続されている必要があります ([Foursquare アカウントに接続する](#), 22 ページ)。

ユーザー評価、レストランの価格設定情報、営業時間など、Foursquare の場所に関する詳細情報を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2  を選択します。

Foursquare によるチェックイン

この機能を使用する前に、お使いのデバイスが Garmin Drive アプリを使用して Foursquare アカウントに接続されている必要があります ([Foursquare アカウントに接続する](#), 22 ページ)。

- 1 目的地検索 > Foursquare > チェックインを選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3  > チェックインを選択します。

TripAdvisor

デバイスには TripAdvisor ジャンル別施設および評価が登録されています。TripAdvisor 評価は、自動的に該当するジャンル別施設リストの検索結果に表示されます。近くの TripAdvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えることもできます。

TripAdvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地検索 > TripAdvisor の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの TripAdvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 3 距離または人気度で検索結果を並べ替えるには、**結果を並べ替える**を選択します (オプション)。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設(POI)へのルートを作成できます。

1 目的地検索 > 検索の入力を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 場所を検索するには、場所の名前または住所を入力し、を選択して、手順3に進みます。

- ・ POIを検索するには、POIの名前を入力し、を選択して、手順5に進みます。

3 場所を選択します。

場所の下にレストラン、レンタカー、またはターミナルなど、カテゴリーのリストが表示されます。

4 カテゴリーを選択します。

5 POIを選択し、出発を選択します。

デバイスは、POIの周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックカーフラッグで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にあるPOIの位置を示します。

場所の探索

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

各場所内にあるすべてのジャンル別施設のリストを表示できます。

1 場所を選択します。

2  > この場所を詳細に調査するを選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

交差点を検索する

2本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

1 目的地検索 > 交差点の順に選択します。

2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。

3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

1 目的地検索 > 座標の順に選択します。

2 必要に応じてを選択し、座標形式やデータを変更します。

3 緯度 / 経度を入力します。

4 地図に表示を選択します。

駐車場

Garmin デバイスは詳細な駐車場データを含んでいます。これは、駐車場の利用可能性、駐車場のタイプ、料金、または認められている支払い方法に基づいて近くの駐車場を検索するのに役立ちます。

注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の 1 つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します（オプション）。
注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 出発を選択します。

指定した場所近くの駐車場を検索する

- 1 位置情報を検索します。
- 2 位置検索結果から位置を選択します。
- 3 Pを選択します。
選択した場所の近くにある駐車場のリストが表示されます。
- 4 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の 1 つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します（オプション）。
注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 5 駐車場を選択します。
- 6 出発を選択します。

駐車場の色分けと記号について

詳細なパーキングデータがある駐車場では、駐車スポットが見つかる可能性が色で表示されます。記号は駐車場のタイプ（路上またはパーキングロット）、関連する料金情報、および支払タイプを示します。

これらの色と記号の凡例はデバイスで表示できます。

パーキング検索の結果から、①を選択します。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 > [≡] > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 病院、警察署、ガソリンスタンド、または路上支援を選択します。
注： サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。
選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ その場所までのナビゲーションが開始するには、出発を選択します。
 - ・ 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、①を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2  > 現在地までの道順の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 選択を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 目的地検索 >  > ショートカットの削除の順に選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 OKを選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します ([カテゴリーを入力して位置を検索する](#), 20 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3  > 保存を選択します。
- 4 名前を入力し、OKを選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、OKを選択します。
- 4 OKを選択します。

保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4  を選択します。
- 5  > 編集を選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 名前を選択します。
 - ・ 電話番号を選択します。
 - ・ カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
 - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、[地図記号の変更](#)を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 OKを選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を12件以上保存すると、カテゴリーが[保存した位置]メニューに表示されます。

- 1 目的地検索>保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 ①を選択します。
- 4 ≡>編集>カテゴリーの順に選択します。
- 5 1つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 OKを選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索>保存済みの順に選択します。
- 2 ≡>保存した場所を削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除を選択します。

ルートに従う

ルート

ルートとは、現在地から1つ以上の目的地までの経路のことです。

- ・デバイスは、ルート計算モード(ルート探索方法を変更する, 31ページ)や回避(遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 31ページ)などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- ・デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。
- ・ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます(ナビゲーションを開始する, 26ページ)。
- ・使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます(ルートを形成する, 30ページ)。
- ・ルートに複数の目的地を追加できます(ルートに場所を追加する, 30ページ)。

ナビゲーションを開始する

- 1 目的地検索を選択し、場所を検索します(位置の検索と保存を行う, 16ページ)。
- 2 位置を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、出発を選択します。
 - ・代替ルートを指定するには、▼を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。
 - ・ルートの経路を編集するには、▼>ルートの編集を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します(ルートを形成する, 30ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します(地図上のルート, 28ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます(ルートに場所を追加する, 30ページ)。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 必要な場合は、を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングします。
地図上に位置マーカー（または青いドット）が表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 位置マーカーを選択します。
 - ・ ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 5 出発を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

- 1 目的地検索 >  > 自宅登録の順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 目的地検索 >  > 自宅登録の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

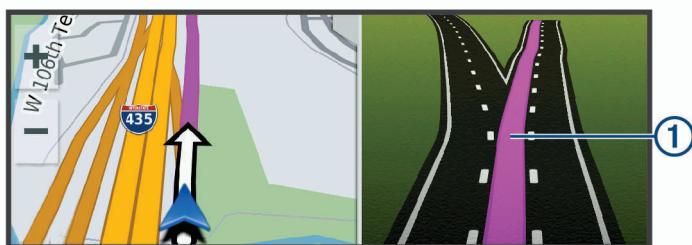
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



- ① ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび（利用可能な場合）走行すべきレーンを示します。
- ② 次のアクションまでの距離。
- ③ 次のアクションに関する通りや出口の名前。
- ④ 地図上に強調表示されたルート。
- ⑤ ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
- ⑥ 車速。
- ⑦ 走行中の道路の名前。
- ⑧ ヒント：このフィールドをタッチして表示情報を変更できます（[地図データフィールドを変更する](#), 37ページ）。
- ⑨ 地図ツール。ルートとその周辺の詳細情報を表示するためのツールを提供します。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①が方向転換する車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ナビゲーションする際にこの先の方向転換や方向指示を表示するには、⋮ > 方向転換を選択します。地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します（オプション）。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 ⌂を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- ⌚は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。
- 目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。はいを選択して、近くの駐車場を検索できます（[目的地の近くの駐車場](#), 29 ページ）。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。

1 次の中からオプションを選択します。

- デバイスに確認のメッセージが表示されたら、はいを選択して近くの駐車場を検索します。
- デバイスに確認のメッセージが表示されなかった場合は、[目的地検索](#) > カテゴリー > 駐車場の順に選択し、📍 > 目的地周辺を選択します。

2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します（オプション）。

注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

3 駐車場を選択し、出発 > 次の経由地を追加の順に選択します。

デバイスは、駐車場にガイドします。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります ([ナビゲーションを開始する, 26 ページ](#))。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます ([トリップを計画する, 45 ページ](#))。

1 地図から、 > 目的地検索を選択します。

2 位置を検索します ([位置の検索と保存を行う, 16 ページ](#))。

3 位置を選択します。

4 出発を選択します。

5 次の中からオプションを選択します。

- ルートの次の目的地として場所を追加するには、次の経由地を追加を選択します。

- ルートの最後に場所を追加するには、最後の経由地追加を選択します。

- 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、アlteイプルートに追加を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります ([ナビゲーションを開始する, 26 ページ](#))。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

1 地図上の任意の場所を選択します。

2 を選択します。

デバイスがルートシェイピングモードになります。

3 地図上で位置を選択します。

ヒント： を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。

デバイスは、選択された場所を通過するようにルートを再計算します。

4 必要に応じて、オプションを選択します。

- ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。

- シェイピングポイントを削除するには、を選択します。

5 ルートの形成が完了したら、出発を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

1 地図で  > ルートの変更を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 距離を指定して迂回するには、距離で迂回を選択します。

- ルート上の特定の道路を迂回するには、道路別迂回路を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 1 設定 > 航法 > ルートの環境設定 > 計算モードを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 時間優先を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - ・ 直行を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。
 - ・ 距離優先を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

ナビゲーションを停止する

- ・ 地図で、⋮ > 停止を選択します。
- ・ ホーム画面で、停止を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイス設定, 51 ページ](#))。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります ([スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 41 ページ](#))。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。 [トラフィック設定] でのオプションを無効にしている場合 ([トラフィック設定, 49 ページ](#))、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、⋮ > トラフィックを選択します。
- 2 代替ルートを選択します（利用可能な場合）。
- 3 出発を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 1 設定 > 航法 > ルートの環境設定を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。

注：メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。

 - ・ 有料道路を選択します。
 - ・ 通行料金 > 有料道路を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 有料区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。
 - ・ 有料道路を常に回避するには、回避を選択します。
 - ・ 有料道路を常に許可するには、許可を選択します。
- 4 保存を選択します。

有料ステッカーを回避する

デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれている場合は、各国で有料ステッカーが必要とされる道路を避けたり、進入を許可したりできます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

1 設定 > 航法 > ルートの環境設定 > 通行料金 > 料金ステッカーを選択します。

2 国を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ・ 有料ステッカーが必要とされる区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。
- ・ 有料ステッカーが必要とされる道路を常に回避するには、回避を選択します。
- ・ 有料ステッカーが必要とされる道路を常に許可するには、許可を選択します。

4 保存を選択します。

道路の回避機能

1 設定 > 航法 > ルートの環境設定 > 回避を選択します。

2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、OKを選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。このオプションは、アクティブな車両プロファイルにある車両タイプに適用されます。

1 設定 > 航法 > ルートの環境設定 > 環境ゾーンを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。
- ・ 環境ゾーンを常に回避するには、回避を選択します。
- ・ 環境ゾーンを常に許可するには、許可を選択します。

3 保存を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

1 設定 > 航法 > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。

2 必要に応じて、回避の追加を選択します。

3 回避道路の追加を選択します。

4 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。

5 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。

6 OKを選択します。

エリアを回避する

1 設定 > 航法 > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。

2 必要に応じて、回避の追加を選択します。

3 回避エリアの追加を選択します。

4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。

5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。

選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。

6 OKを選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1 設定 > 航法 > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3 > 無効の順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1 設定 > 航法 > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。

- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ すべてのカスタム回避を削除するには、を選択します。
 - ・ カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、 > 削除の順に選択します。

直行ルートをナビゲーションする

ナビゲーションの指示に従わなかった場合は、直行モードを使用できます。

設定 > ナビゲーション > ルートの環境設定 > 計算モード > 直行 > 保存の順に選択します。

デバイスは道路を無視し、目的地間の直線を使用してルートを計算します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと ([地図上のルート, 28 ページ](#))やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - ・ 拡大または縮小するには、 または を選択します。
 - ・ ノースアップ表示と3D表示を切り替えるには、 を選択します。
 - ・ 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、 を選択します。
 - ・ ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、出発 ([地図を使用してナビゲーションを開始する, 27 ページ](#))を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

カメラ: ダッシュカーナビのコントロール表示し、前方衝突警告および車線逸脱警告を表示します。また、ダッシュカーナビビューファインダーと運転支援設定にアクセスすることもできます。

ルートの変更:迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する](#), 30 ページ)。

ミュート: マスター音量をミュートします。

次の都市まで: アクティブルートや高速道路沿いの、次の都市およびサービスを表示します ([次の都市まで](#), 35 ページ)。

この先: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先](#), 34 ページ)。

高度: この先の高度変化を表示します。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する](#), 36 ページ)。この機能は、一部の地域やデバイスマodelでは利用できません。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図上にカスタマイズされたトリップ情報を表示する](#), 35 ページ)。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する](#), 29 ページ)。

電話: 接続されている電話の最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します ([通話中オプションを使用する](#), 40 ページ)。

天気: エリアの天気状況を表示します。

photoLive: photoLive サブスクリプションからのライブトラフィックカメラを表示します ([photoLive トラフィックカメラ](#), 47 ページ)。

カメラを通知: スピードカメラや赤信号カメラを通知できます。このツールは、デバイスにスピードカメラデータや赤信号カメラデータがあり、Garmin Drive アプリ ([ライブサービス](#)、[トラフィック](#)、および[スマートフォン機能](#), 37 ページ)。

地図ツールを表示する

1 地図で を選択します。

2 地図ツールを選択します。

地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。

3 地図ツールを使い終わったら、 を選択します。

この先

この先ツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。

3 つのカテゴリーをこの先ツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

1 地図から > この先を選択します。

走行中、3 つのカテゴリーそれぞれに、ルートまたは走行中の道路沿いの「次の場所」が地図ツールに表示されます。停車中は、3 つのカテゴリー名が地図ツールに表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1 つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。

- 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

この先ツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

1 地図から : > この先を選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
- カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
- カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、カスタム検索を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。

5 保存を選択します。

次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が [次の都市まで] ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

この先の都市や出入口サービスの表示

1 地図で : > 次の都市までを選択します。

高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。

2 都市を選択します。

デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設（ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど）が表示されます。

3 場所を選んで、出発を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

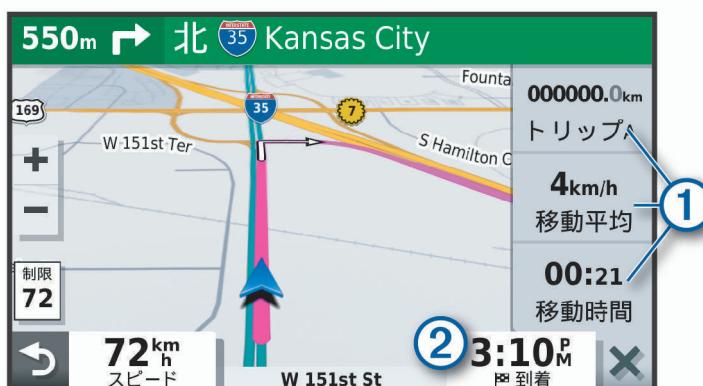
トリップ情報

地図上にカスタマイズされたトリップ情報を表示する

トリップデータ地図ツールを使うと、地図上にカスタマイズされたトリップ情報を表示できます。

1 地図で : > 出張データを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。



- トリップデータツールでデータフィールドを選択し ①、フィールドに表示する情報を選択します。
- カスタマイズ可能な地図データフィールドを選択し ②、フィールドに表示する情報を選択します。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

地図で、スピードを選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ（走行した経路の記録）を保持しています。

1 設定 > 航法 > 地図 / 車両 > 地図レイヤーを選択します。

2 軌跡ログチェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

1 地図で、スピードを選択します。

2  > フィールドのリセットの順に選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択**を選択します。
- トリップコンピュータの情報をリセットするには、**トリップデータのリセット**を選択します。
- 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
- オドメーターをリセットするには、**トリップ B のリセット**を選択します。

進行方向の交通事故を表示する

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ（[\[トラフィック\]](#), 41 ページ)を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

1 ルートのナビゲーションの実行中に、 > トラフィックの順に選択します。

地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。

2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

1 メインメニューで、 > 航法 > トラフィックを選択します。

2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

1 メインメニューで、 > 航法 > トラフィックを選択します。

2  > 事故の順に選択します。

3 リストからアイテムを選択します。

4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

1 設定 > 航法 > 地図 / 車両 > 地図レイヤーの順に選択します。

2 地図上に表示する各レイヤーの横にあるチェックボックスをオンにします。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1 設定 > 航法 > 地図 / 車両 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ラックアップを選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ・ ノースアップを選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - ・ 3D を選択すると地図が 3D 表示されます。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

Garmin Drive アプリを使用すると、デバイスで、スマート通知、およびライブトラフィックデータや天気情報などのライブ情報を受信することができます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します ([\[ライブトラフィック \]](#), 41 ページ)。

天気情報: リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します ([天気予報を表示する](#), 43 ページ)。

スマート通知: 電話の通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。選択した言語が音声コマンド機能をサポートしている場合は、音声コマンドを使用して電話をかけることができます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

Foursquare チェックイン: ナビゲーションデバイスを使用して、Foursquare の場所にチェックインできます ([Foursquare によるチェックイン](#), 22 ページ)。

スマートフォンとペアリングする

Garmin デバイスをスマートフォンおよび Garmin Drive アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 37 ページ)。

- 1 スマートフォンのアプリストアから、Garmin Drive アプリをインストールします。
- 2 Garmin デバイスをオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

Bluetooth 機能を有効または無効にする

ペアリングされたスマートフォンのハンズフリー通話および Garmin Drive 機能を有効または無効にすることができます。

- 1 設定 > Bluetooth の順に選択します。
- 2 電話名の横の  を選択します。
- 3 使用目的セクションで、オプションを選択します。
 - ・ Garmin Drive アプリへの接続を有効にするには、Garmin Drive を選択します。
 - ・ ハンズフリー通話機能を有効にするには、ハンズフリーを選択します。
- 4 OK を選択します。

アプリの通知を表示または非表示にする (Android™)

Garmin Drive アプリを使用して、Garmin デバイスに表示するスマートフォン通知の種類をカスタマイズできます。

- 1 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 2  > スマート通知を選択します。
スマートフォンアプリのリストが表示されます。
- 3 アプリの横にある切り替えスイッチを選択して、アプリの通知を有効または無効にします。

Apple®デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする

Apple デバイスに接続されている場合は、カテゴリーを表示または非表示にして、Garmin デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

- 1  > 航法 > スマート通知 >  を選択します。
- 2 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

追加 Bluetooth デバイスのペアリング

- 1 ヘッドセットまたは電話と Bluetooth デバイスの距離は 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。
- 2 デバイス側で Bluetooth 無線機能を有効にします。
- 3 ヘッドセットまたは電話で、Bluetooth 無線技術を有効にして、他の Bluetooth デバイスに表示されるようにします。
- 4 デバイスで設定 > Bluetooth の順に選択します。
周辺にある Bluetooth デバイスのリストが表示されます。
- 5 リストからヘッドセットまたは電話を選択します。
- 6 ペアリングを選択します。

スマート通知

デバイスが Garmin Drive アプリに接続されているときは、Garmin デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

通知を受信する

△ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 37 ページ](#))。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- ・ 通知を無視するには、OK を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
- ・ 通知を表示するには、表示を選択します。
- ・ 通知を聞くには、表示 > 再生の順に選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

- ・ 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、表示を選択してからオプションを選択します。

注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

△ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります（[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#)、37 ページ）。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を無視するには、を選択するか、ポップアップの期限が切れるまで待ちます。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、**メッセージを再生**を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 音声コマンドを使用して通知を聞くには、**メッセージを再生**と話します。
注：このオプションが利用可能なのは、選択した言語で音声コマンド機能がサポートされていて、地図ツールにが表示されているときだけです。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、表示を選択してからオプションを選択します。
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

- > 航法 > スマート通知の順に選択します。

通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。

- 次の中からオプションを選択します。

- 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
- 通知を聞くには、を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話とワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。お使いの Bluetooth 技術搭載デバイスがデバイスに対応しているかどうかを確認するには、[www.garmin.com/bluetooth](#) を参照してください。

電話をかける

- を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 電話をかけるには、を選択してから電話番号を入力し、を選択します。
 - 最近電話をかけた、または最近着信があった電話番号に電話するには、を選択し、電話番号を選択します。
 - 電話帳にある連絡先に電話をかけるには、を選択し、次に連絡先を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、回答または却下を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出ると表示されます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：通話中オプションページを閉じた場合は、メインメニューから  を選択してもう一度開くことができます。

- 会議通話を設定するには、 を選択します。
- 音声の出力先を電話に切り替えるには、 を選択します。
ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ダイヤルパッドを使用するには、 を選択します。
ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- マイクをミュートするには、 を選択します。
- 電話を切るには、 を選択します。

電話番号をプリセットとして保存する

連絡先を 3 つまでプリセットとしてダイヤルパッドに保存できます。これにより、自宅の電話番号、家族、または頻繁に連絡する連絡先にすばやく電話をかけることができます。

-  >  の順に選択します。
- プリセット 1 などのプリセット番号を保持します。
- 連絡先を選択します。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も Garmin デバイスに自動的に接続できます。

- 設定 > Bluetooth の順に選択します。
- 接続を解除するデバイスを選択します。

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除して、今後自動的に Garmin デバイスに接続できないようにすることができます。ペアリングしたスマートフォンを削除した場合も、すべての同期された電話帳の連絡先および通話履歴が Garmin デバイスから削除されます。

- 設定 > Bluetooth を選択します。
- Bluetooth デバイス名の横の  > 破棄を選択します。

[トラフィック]

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます ([トラフィック設定, 49 ページ](#))。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信している必要があります。

- ・ 末尾が MT の製品モデルでは、内蔵のトラフィックレシーバーと付属の車両電源ケーブルを使用して、無線ブロードキャスト信号からトラフィックデータを受信できます。([トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する, 41 ページ](#))。
 - ・ すべての製品モデルで、Garmin Drive アプリを使用してトラフィックデータを受信できます (サブスクリプション無料) ([スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 41 ページ](#))。
 - ・ すべての製品モデルは、無線トラフィックレシーバーケーブルアクセサリを使用して、トラフィックデータを受信できます ([トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する, 41 ページ](#))。
- [garmin.com](#) で製品のページに移動し、互換性のあるトラフィックレシーバーケーブルアクセサリを検索して購入します。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、[garmin.com/traffic](#) を参照してください。

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する

デバイスは、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトラフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを Garmin Drive アプリに接続します ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 37 ページ](#))。
- 2 Garmin デバイスで、[設定 > 航法 > トラフィック](#) の順に選択し、[トラフィックチェックボックス](#)がオンになっていることを確認します。

トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する

注記

ヒーター付き（熱線付き）フロントガラスは、交通情報受信機の性能を低下させることができます。

トラフィックレシーバーは、利用可能な場合、無線ブロードキャスト信号からトラフィックデータを受信します。無線トラフィックデータを受信するには、トラフィックに対応する電源ケーブルを使用して、デバイスを車両の電源に接続する必要があります。トラフィックレシーバーは、一部の製品モデル ([\[トラフィック \], 41 ページ](#))に付属しています。お使いの製品モデルにトラフィックレシーバーが付属していない場合には、[garmin.com](#) の製品ページにアクセスして、対応するトラフィックレシーバーケーブルアクセサリをご購入いただけます。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、[garmin.com/traffic](#) を参照してください。

トラフィックに対応する電源ケーブルを使用して、デバイスを車両の電源に接続します ([車両への Garmin デバイスの取り付けと電源の供給, 3 ページ](#))。

お使いの製品モデルにトラフィックデータが含まれている場合、デバイス付属の車両電源ケーブルはトラフィックに対応しています。トラフィックレシーバーケーブルをアクセサリとして購入した場合、アクセサリケーブルを使用してデバイスを車両の電源に接続してください。

ユーザーがトラフィック情報を利用できる地域にいれば、デバイスはトラフィック情報を表示でき、交通遅延の回避に役立ちます。

トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。

- 1 設定 > 航法 > トラフィックの順に選択します。
- 2 トラフィックチェックボックスをオンにします。

音声コマンド

注：すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注：周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを使用することができます。 [音声コマンド] メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

ウェイクアップフレーズを設定する

ウェイクアップフレーズは、音声コマンドをアクティブにするために使用する単語またはフレーズです。デフォルトのウェイクアップフレーズは「OK Garmin」です。

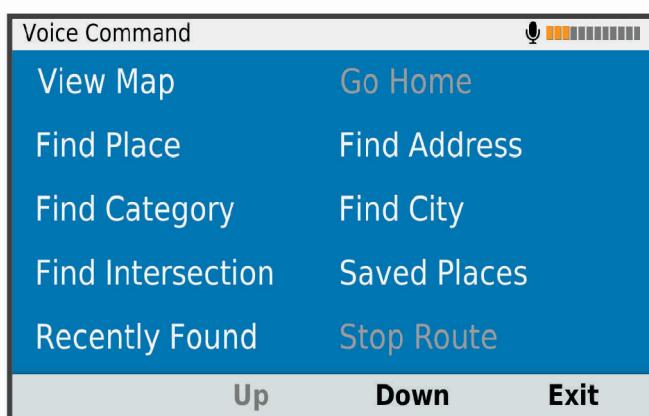
ヒント：強いウェイクアップフレーズを使用して、音声コマンドが誤動作する可能性を減らすことができます。

- 1 > 音声コマンド > > ウェイクアップフレーズの順に選択します。
- 2 新しいウェイクアップフレーズを入力します。
フレーズを入力すると、デバイスにウェイクアップフレーズの強度が示されます。
- 3 OKを選択します。

音声コマンドを有効化する

- 1 OK Garmin といいます。

[音声コマンド] メニューが表示されます。



- 2 メニューのコマンドを発音します。

- 3 音声案内に応答して、検索または操作を完了します。

音声コマンドのヒント

- ・ デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- ・ 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- ・ 画面にコマンドが表示されたら、そのコマンドを発音します。
- ・ 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- ・ 音声コマンドの誤作動を減らすには、ウェイクアップフレーズを長くします。
- ・ デバイスが音声コマンドへ移行したこと、および終了したことを確認する 2 つのトーンを聞きます。

音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する

人気のある、有名な場所の名前を発音できます。

- 1 OK Garmin と発音します。
- 2 場所の検索と発音します。
- 3 音声案内を聞き、場所の名前を発音します。
デバイスで、検索結果のリストが表示されます。

Voice Command		Microphone icon
1.	Starbucks	1.5 mi SE
	Price Chopper	
2.	Starbucks	2.0 mi E
	15094 S Blackbob Rd, Olathe, KS	
3.	Starbucks	2.0 mi E
	15094 S Blackbob Rd, Olathe, KS	
4.	Starbucks	2.7 mi NE
	15225 W 135th St, Olathe, KS	
	Back	Up
	Down	Exit

- 4 行きたい場所の行番号を発音します。
デバイスで、地図上に場所が表示されます。
- 5 「ナビゲーション」と発音します。

ミュートの手順

デバイスをミュートせずに、音声コマンドの音声案内を無効にすることができます。

- 1  > 航法 > 音声コマンド >  を選択します。
- 2 指示をミュート（消音）にする > 有効の順に選択します。

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1  > マニュアルの順に選択します。
マニュアルはソフトウェアの言語と同じ言語で表示されます（テキスト言語を設定する、50 ページ）。
- 2 [Q] を選択してマニュアルを検索します（オプション）。

天気予報を表示する

注記

Garmin は天気予報データの正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Garmin Drive アプリに接続して、天気データを受信できます（ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能、37 ページ）。

- 1  > 天気の順に選択します。
デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 曜日を選択します。
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1  > 天気 > 現在地の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - ・ お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります（[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 37 ページ）。

- 1  > 気象観測レーダーを選択します。
- 2 ▶ を選択して、レーダー地図をアニメーション化します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります（[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 37 ページ）。

注：この機能を利用できない地域もあります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1  > 天気を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3  > 気象警報の順に選択します。

道路状況を確認する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります（[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 37 ページ）。

自分の地域、自分のルート、または別の都市の道路の天候に関連する道路状況を表示できます。

- 1  > 天気を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3  > 道路状況を選択します。

サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリーがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリーを追加することもできます（「[サービスカテゴリーを追加する](#), 44 ページ」）。

- 1  > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3 レコードの追加を選択します。
- 4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。
- 5 コメントを入力します（省略可）。
- 6 OKを選択します。

サービスカテゴリーを追加する

- 1  > サービス履歴を選択します。
- 2  > カテゴリーの追加の順に選択します。
- 3 カテゴリーネームを入力してから、OKを選択します。

サービスカテゴリーを削除する

サービスカテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに含まれるサービスの記録もすべて削除されます。

- 1  > サービス履歴を選択します。
- 2  > カテゴリーの削除の順に選択します。
- 3 削除するサービスカテゴリーを選択します。
- 4 削除を選択します。

サービスカテゴリーの名前を変更する

- 1  > サービス履歴を選択します。
- 2 名前を変更するカテゴリーを選択します。
- 3  > カテゴリ名変更の順に選択します。
- 4 名前を入力し、OKを選択します。

サービスの記録を削除する

- 1  > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3  > レコードの削除の順に選択します。
- 4 削除するサービスの記録を選択します。
- 5 削除を選択します。

サービスの記録を編集する

コメント、オドメーターの測定値、およびサービスの記録日を編集できます。

- 1  > サービス履歴を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 フィールドを選択します。
- 4 新しい情報を入力して、OKを選択します。

トリッププランナー

トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並べ替え、経由地の順序の最適化、アトラクションの提案の追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

トリッププランナーを使用して、アクティブルートを編集し保存することもできます。

トリップを計画する

1回のトリップに多数の目的地を含めることができます、少なくとも出発地と1つの目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1  > トリッププランナ > 新規トリップの作成の順に選択します。
- 2 出発地の選択を選択します。
- 3 始点を指定し、選択を選択します。
- 4 目的地の選択を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、選択を選択します。
- 6 場所の追加を選択して、その他の場所を追加します(オプション)。
- 7 必要な場所をすべて追加したら、次へ>保存の順に選択します。
- 8 名前を入力し、OKを選択します。

トリップの場所を編集および並べ替える

- 1  > トリッププランナ > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を上下に移動するには、 を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
 - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、 を選択します。
 - ・ 場所を削除するには、 を選択します。

トリップの目的地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの目的地の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても出発地と最終目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、 > 順序の最適化を選択します。

トリップの経路にあるアトラクションの発見

トリップに追加できる興味深いアトラクションや人気のアトラクションが提案されます。

- 1 トリップの編集中に、 > アトラクションの提案を選択します。
- 2 アトラクションを選択すると、詳細情報が表示されます。
- 3 選択を選択してアトラクションをトリップに追加します。

トリップのルート探索オプションを変更する

トリップを開始するとき、デバイスがルートを計算する方法をカスタマイズできます。

- 1  > トリッププランナ > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 車両プロファイルアイコンを選択し、トリップのナビゲーション中の使用を予定している車両を選択します(オプション)。
- 4  を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ トリップにシェイピングポイントを追加するには、ルートを形成するを選択し、画面に表示される指示に従います(ルートを形成する, 30 ページ)。
 - ・ トリップの計算モードを変更するには、ルート探索方法を選択します(ルート探索方法を変更する, 31 ページ)。

保存されているトリップをナビゲーションする

保存したトリップのナビゲーションを開始するには、デバイスのアクティブな車両プロファイルがトリップの選択された車両プロファイルと一致している必要があります([トリップのルート探索オプションを変更する, 46 ページ](#))。一致しない場合、トリップを開始する前に車両プロファイルを変更するように求めるメッセージがデバイスに表示されます([車両プロファイルの切り替え, 7 ページ](#))。

- 1  > トリッププランナ > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 出発を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、開始を選択します。

デバイスは、現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのトリップ目的地に順番に案内します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合、トリッププランナーを使用し、トリップとしてルートを編集および保存できます。

- 1  > トリッププランナー > 保存されたトリップ > マイケイブルートを選択します。
- 2 いずれかのトリッププランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 トリップとしてルートを保存するには、保存を選択します。ナビゲーションは後で再開できます（オプション）。

photoLive トラフィックカメラ

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリにデバイスを接続しておく必要があります（[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#)、37 ページ）。

photoLive トラフィックカメラは、主要な道路および交差点の交通状況をライブ画像で提供します。

photoLive サービスを利用できない地域もあります。

photoLive トラフィックカメラの表示と保存

周辺のトラフィックカメラのライブ画像を表示できます。頻繁に訪れるエリアのトラフィックカメラを保存することもできます。

- 1  > photoLive の順に選択します。
- 2 觸れて追加を選択します。
- 3 道路を選択します。
- 4 トラフィックカメラの場所を選択します。
カメラからのライブ画像のプレビューが、カメラの設置場所の地図の横に表示されます。画像プレビューを選択すると、フルサイズの画像を表示できます。
- 5 保存選択して、カメラを保存します（オプション）。
photoLive アプリのメイン画面にカメラのサムネイル画像プレビューが追加されます。

地図上に photoLive トラフィックカメラを表示する

photoLive 地図ツールには、進行方向のトラフィックカメラが表示されます。

- 1 地図で、 > photoLive を選択します。
通りの進行方向にある最も近いトラフィックカメラからのライブ画像が表示されます。カメラまでの距離も表示されます。カメラを通過すると、次のカメラのライブ画像がロードされます。
- 2 その通りにカメラが見つからない場合、カメラを探すを選択して、周辺のトラフィックカメラを表示または保存します（オプション）。

トラフィックカメラを保存する

- 1  > photoLive を選択します。
- 2 觸れて追加を選択します。
- 3 道路を選択します。
- 4 交差点を選択します。
- 5 保存を選択します。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります（[デバイス設定](#)、51 ページ）。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

 > 目的地の履歴を選択します。

設定

ナビゲーション設定

設定 > 航法を選択します。

車両プロファイル: デバイスを使用する各車両の車両プロファイルを設定します。

地図 / 車両: 地図の詳細度と、デバイスに表示する車両アイコンを設定します。

ルートの環境設定: ナビゲーション時のルート探索の環境設定を設定します。

安全運転支援: 運転者支援警告を設定します。

トラフィック: デバイスで使用するトラフィックの詳細を設定します。アクティブルートで交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます(ルート上の交通遅延を回避する, 31 ページ)。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

地図および車両設定

設定 > 航法 > 地図 / 車両の順に選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。 詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します(地図レイヤーをカスタマイズする, 36 ページ)。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

1 設定 > 航法 > 地図 / 車両 > マイマップを選択します。

2 地図を選択します。

[ルート探索の環境設定] の設定

設定 > 航法 > ルートの環境設定の順に選択します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

音声言語: ナビゲーション音声案内の言語を変更します。

走行履歴: デバイスで、myTrends、目的地の履歴、および軌跡ログ機能に関する情報を記録します。

走行履歴の消去: myTrends、目的地の履歴、および軌跡ログ機能から走行履歴を消去します。

運転者支援の設定

設定 > 航法 > 安全運転支援の順に選択します。

ドライバーアラート: この先の工事ゾーンや道路状況に関するアラートの有効 / 無効を切り替えることができます(ドライバーへの注意喚起の機能とアラート, 12 ページ)。

スピードカメラアラート: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

トラフィック設定

メインメニューで、**設定 > 航法 > トラフィック**の順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

サブスクリプション: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する, 31 ページ](#))。

交通アラート: 交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を設定します。

ダッシュカメラの設定

設定 > ダッシュカメラの順に選択します。

取り付け位置: 車両の高さとカメラ位置を設定し、ダッシュカメラを位置合わせできます ([カメラの位置を合わせる, 8 ページ](#))。

自動撮影: デバイスをオンにしたときにダッシュカメラでビデオの録画を自動的に開始できるようにします。

運転者支援アラートトーン: 前方衝突警告または車線逸脱警告がトリガされたときに、デバイスが通知音を再生できるようにします。

前方衝突警告: 前方衝突警告 ([前方衝突警告システム, 13 ページ](#)) 感度を高くすると、感度が低い場合よりもアラートが早くなります。

車線逸脱警告: 無意識に車線境界をはみ出している可能性があることをデバイスが検出したときの警告を有効にします ([車線逸脱警告システム, 14 ページ](#))。

ビデオ解像度: ダッシュカメラ録画の解像度と画質を設定します。

未保存の映像: デバイスが未保存のビデオ映像を削除するタイミングを決定します。ストレージがいっぱいになつたら削除オプションを選択すると、メモリーカードのストレージがいっぱいになると、最も古い未保存のビデオが削除されます。直ちに削除オプションを選択すると、3分超経過しても未保存のビデオは継続的に削除され、電源をオフにするたびに未保存のビデオはすべて削除されます。これはデータのプライバシー保護に役立ちます。直ちに削除オプションを選択している間は、Travelapse™ビデオの録画や、未保存のビデオをギャラリーに表示することはできません。

録音する: ダッシュカメラを使って録画する場合の音声録音を有効または無効にします。

タイムスタンプ設定: 録画されたビデオに日付、時刻、位置、速度の情報を含めます。

簡易パーキングモード: 外部電源が失われたときに選択した時間までビデオの録画を続けます。

Bluetooth 無線技術を有効にする

設定 > Bluetooth の順に選択します。

ワイヤレスネットワークに接続する

1 設定 > Wi-Fi を選択します。

2 必要に応じて切り替えスイッチを選択して、ワイヤレスネットワークを有効にします。

3 ワイヤレスネットワークを選択します。

4 必要に応じて暗号キーを入力します。

デバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。デバイスがネットワーク情報を記憶し、この場所に戻ったときに、自動的に接続します。

ディスプレイ設定

設定 > 表示の順に選択します。

輝度レベル: デバイスのディスプレイの輝度レベルを設定します。

テーマ: 昼または夜のカラー モードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

壁紙: デバイスの壁紙背景を設定します。

スリープ: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

Daydream: Daydream スクリーンセーバーを有効または無効にします。

フォントサイズ: デバイスのフォントサイズを増減します。

キャスト: デバイスの画面の内容を互換性のある外部ディスプレイにワイヤレスで表示できます。

サウンドと通知の設定

設定 > サウンドと通知を選択します。

音量スライダ: ナビゲーション、メディア、通話、アラーム、および通知警告の音量レベルを設定します。

サイレントモード: 自動サイレントモード機能のルールを設定します。この機能を使用すると、特定の時間帯またはイベント中の警告音を無効にすることができます。

デフォルトの着信音: デバイスのデフォルトの着信音を設定します。

サウンドと通知の音量を調整する

1 設定 > サウンドと通知の順に選択します。

2 スライダバーを使用して、サウンドと通知の音量を調整します。

位置情報サービスを有効または無効にする

デバイスで現在地の検索、ルート計算、ナビゲーション支援の提供を行うには、位置情報サービス機能を有効にする必要があります。GPS信号が利用できない場合は、位置情報サービスを無効にして、ルートを計画できます。位置情報サービスが無効なときは、GPSシミュレーターを使用してルートを計算し、シミュレートすることができます。

ヒント: 位置情報サービスを無効にすると、バッテリー電力を節約できます。

1 設定 > 位置情報を選択します。

2 トグルスイッチを選択して、位置情報サービスを有効または無効にします。

注: ほとんどの用途では、モード設定をデフォルトオプションのデバイスのみから変更しないでください。このデバイスには、ナビゲート時に最も正確な位置データを提供する高性能 GPS アンテナが組み込まれています。

テキスト言語を設定する

デバイスソフトウェアのテキストの言語を選択できます。

1 設定 > 言語 / 入力 > 言語の順に選択します。

2 言語を選択します。

日付と時刻の設定

設定 > 日付と時刻を選択します。

日付と時刻の自動設定: 接続されたネットワークからの情報に基づいて時間を自動的に設定します。

日付の設定: デバイスの月、日、および年を設定します。

時刻の設定: デバイスの時刻を設定します。

タイムゾーンの選択: デバイスのタイムゾーンを設定します。

24 時間表示を使用: 24 時間形式を有効または無効にします。

デバイス設定

設定 > デバイスについてを選択します。

システムの更新: 地図とデバイスソフトウェアを更新できます。

ステータス: 電池の状態とネットワーク情報を表示します。

法規制情報: エンドユーザー使用許諾契約 (EULA) およびソフトウェアライセンス情報を表示できます。

法規: E ラベルの規制および規制準拠に関する情報を表示します。

Garmin デバイス情報: ハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。

設定を初期化する

設定のカテゴリーを工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1 設定を選択します。
- 2 設定のカテゴリーを選択します。
- 3 : > 初期化を選択します。

データと設定をリセットする

ユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、複数の方法があります。

- 1 設定を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 走行履歴を消去するには、航法 > ルートの環境設定 > 走行履歴の消去を選択します。
このオプションを選択すると、これまでに走行した場所の全記録が削除されます。保存した位置情報やアカウント、アプリ、インストール済みの地図は削除されません。
 - ・ ナビゲーション設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、航法 > : > 初期化の順に選択します。
このオプションを選択してもユーザーデータは削除されません。
 - ・ 保存されているすべてのワイヤレスネットワークとペアリング済みデバイスを削除するには、デバイスのリセット > ネットワーク設定のリセットの順に選択します。
このオプションを選択しても他のユーザーデータは削除されません。
 - ・ すべてのユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、デバイスのリセット > Factory Data Reset の順に選択します。
このオプションを使用すると、走行履歴、アプリ、アカウント、設定、保存されたネットワーク、ペアリングされたデバイス、およびその他のすべてのユーザーデータが削除されます。インストール済みの地図は削除されません。Garmin フォルダ内のユーザーファイルは削除されません。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

- 1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。
- 2 デバイスについて > 法規を選択します。

仕様

動作温度範囲	-10° ~ 55°C (14° ~ 131°F)
充電温度範囲 (車両電源)	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
電源入力の種類	別売アクセサリーを使用して車両電源から電源供給。別売アクセサリーを使用して AC 電源から電源供給 (家庭またはオフィスでの使用時限定)。
電池タイプ	充電式リチウムイオン
入力	最大 DC 5 V、2 A
無線周波数	2.4 GHz @ 19.5 dBm 定格

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。
- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリーにデバイスを接続します。
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

地図やソフトウェアの更新

最適なナビゲーションエクスペリエンスを得るには、デバイスの地図とソフトウェアを最新の状態に維持する必要があります。

地図の更新では、デバイスで使用している地図の道路や場所に関する利用可能な最新の変更が取得できます。地図を最新の状態に保つと、デバイスで最近追加された場所を見つけて、より正確なルートを計算することができます。地図の更新は大きいため、完了に数時間かかる可能性があります。

ソフトウェア更新では、デバイスの機能と操作の変更と改善が取得できます。ソフトウェア更新は小さく、数分間で完了します。

2つの方法を使用してデバイスを更新できます。

- デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新できます (推奨)。このオプションでは、デバイスをコンピュータに接続しないでタイミングよく更新できます。
- デバイスをコンピュータに接続し、Garmin Express アプリケーションを使用して更新できます (garmin.com/express)。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 付属の USB ケーブルを使用して、デバイスを外部電源に接続します。

注：USB 電源アダプターは付属していません。アクセサリの電源アダプターを購入するには、garmin.com の製品ページにアクセスしてください。

- デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します ([ワイヤレスネットワークに接続する](#), 49 ページ)。

Wi-Fi ネットワークに接続されている間、デバイスは利用可能な更新がないか自動的にチェックし、利用可能な更新が見つかると通知を表示します。

- 次の中からオプションを選択します。

- 更新通知が表示されたら、画面の上部から下へスワイプし、**更新が利用可能です。**を選択します。
- 更新を手動でチェックするには、**設定 > デバイスについて > システムの更新** の順に選択します。

利用可能な地図とソフトウェアの更新が表示されます。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能** がマップまたはソフトウェアの下に表示されます。

- 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**ダウンロード**を選択します。
- 地図の更新のみをインストールするには、**マップ**を選択します。
- ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア**を選択します。

- 必要に応じて、使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。

注：使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

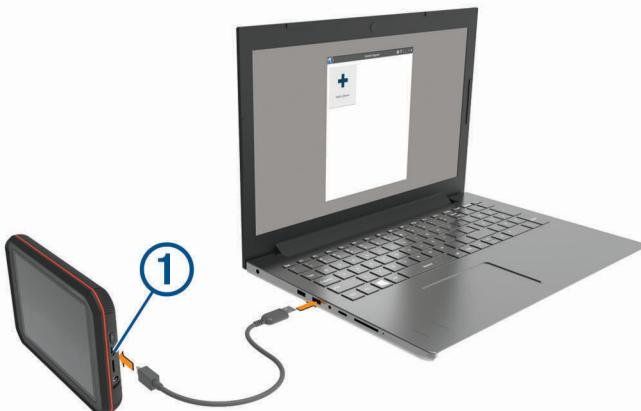
- 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント：地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、地図をもう一度更新する必要があります。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com /express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします ([Garmin Express をインストールする, 55 ページ](#))。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 micro-USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は Garmin デバイスの micro-USB ポート①に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 Garmin デバイスでファイル転送モードに移行するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**はい**を選択します。
- 5 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 6 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。



- 7 次の中からオプションを選択します。
 - 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
 - 特定の更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックし、必要な更新の横にある**インストール**をクリックします。
- Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。
- 注：地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります ([地図およびデータ用のメモリカードを挿入する, 58 ページ](#))。
- 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。
たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows® および Mac® コンピュータで利用できます。

1 コンピュータから garmin.com/express にアクセスします。

2 次の中からオプションを選択します。

- システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、システム要件を選択します。
- Windows コンピュータにインストールするには、ダウンロード (Windows) を選択します。
- Mac コンピュータにインストールするには、ダウンロード (Mac) を選択します。

3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

カメラレンズのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

録画ビデオの品質を改善するため、カメラレンズを定期的にクリーニングする必要があります。

1 必要に応じてイソプロピルアルコールで湿らせた、傷を付けないレンズクロスでレンズを拭きます。

2 レンズを空気乾燥させます。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース（タッチスクリーン以外）を拭きます。

2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。

2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。

3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。

4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

・ 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見るところから取り外してください。

・ 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。

・ ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。

・ Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します（garmin.com/express）。

デバイスを再起動する

デバイスが動作を停止した場合には、再起動できます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

付録

バックアップカメラ

接続された1台以上のバックアップカメラからのビデオフィードをデバイスに表示できます。

有線のバックアップカメラを接続する

デバイスマウントには、3.5 mm のコンポジットビデオ入力ジャックが含まれています。有線のバックアップカメラを接続し、デバイスの画面に出力を表示することができます。

カメラのビデオケーブルをマウントのビデオ入力ジャック ① に接続します。



BC™ 35 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリングする

カメラに接続する前に、Garmin ナビゲーションデバイスで Wi-Fi 設定を有効にする必要があります。

BC 35 ワイヤレスバックアップカメラは、Android を搭載した一部の Garmin ナビゲーションデバイスと互換性があります。デバイスの互換性について詳しくは、garmin.com/bc35 を参照してください。

最大 4 台の BC 35 ワイヤレスバックアップカメラを、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

1 ナビゲーションデバイスを最新のソフトウェアに更新します。

デバイスは最新のソフトウェアがインストールされていない BC 35 カメラをサポートしない場合があります。更新について詳しくは、ナビゲーションデバイスのマニュアルを参照してください。

2 Garmin ナビゲーションデバイスの電源をオンにし、カメラから 3 m (10 ft.) 以内の範囲に移動します。

3 > リアビューを選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- ナビゲーションデバイスに接続する最初のカメラの場合は、新しいカメラの追加を選択します。
- ナビゲーションデバイスに接続する追加のカメラの場合は、 > カメラを選択 > 新しいカメラの追加を選択します。

5 画面に表示される手順に従います。

注：ペアリングコードまたはパスワードは、送信機またはカメラに記載されています。

最初のカメラとのペアリングプロセスが完了すると、Garmin ナビゲーションデバイスに自動的に接続されます。

バックアップカメラを表示する

カメラを電源にどのように接続するかによって、接続されているバックアップカメラからのビデオが、デバイスにどう表示されるかが異なります。

1 オプションを選択して、ビデオを表示します。

- カメラがリバースランプに接続されている場合（推奨）、車両のギアをバックに入れます。
バックアップカメラからのビデオがデバイスに自動的に表示されます。
- カメラが、安定した電源に接続されている場合、手動でカメラを表示するには、 > リアビューを選択します。

2 オプションを選択して、デバイスを通常の動作に戻します。

- カメラがリバースランプに接続されている場合（推奨）、車両のギアをバック以外に入れます。
デバイスは自動的に通常の動作に戻ります。
- トランスミッタが、安定した電源に接続されている場合、手動でカメラを非表示にするには、を選択します。

カメラを切り替える

複数のバックアップカメラが、デバイスに情報を送信している場合、それらのカメラの画像を切り替えることができます。

1 > リアビューを選択します。

2 > カメラを選択を選択します。

3 カメラを選択します。

カメラのビデオフィードが表示され、画面の上部にカメラの名前が表示されます。

ワイヤレスディスプレイに接続する

デバイスの画面の内容を、互換性のある外部ディスプレイに表示できます。

1 デバイスをワイヤレスディスプレイの近くに移動します。

2 設定 > 表示 > キャストの順に選択します。

3 ワイヤレスディスプレイを選択します。

4 必要に応じて PIN を入力します。

データ管理

ファイルをデバイスに保存できます。デバイスには、データストレージを追加できるメモリカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.4 以降に対応しています。Mac コンピュータは、Android デバイス上のファイルを読み書きするのに追加のサードパーティソフトウェアを必要とする場合があります。

メモリカードについて

家電販売店からメモリカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。メモリカードを使用すると、地図やカスタム POI などのファイルを保存できます。

地図およびデータ用のメモリカードを挿入する

メモリカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリカードを家電量販店から購入するか、www.garmin.com/maps にアクセスして Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリカードを購入できます。このデバイスは、4~256 GB の microSD メモリカードに対応しています。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリカードスロットの場所を確認します ([Garmin®の概要, 2 ページ](#))。
- 2 メモリカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
- 3 Garmin デバイスでファイル転送モードに切り替えるかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**はい**を選択します。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 58 ページ](#))。コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
 - 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
 - 3 ファイルを選択します。
 - 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
 - 5 デバイス上のフォルダを参照します。
- 注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、そのデバイスを安全に取り外す必要はありません。

- 1 次の手順を実行します。
 - Windows コンピュータの場合、システムトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
 - Apple コンピュータでデバイスを選択し、[ファイル] > [取り出す] を選択します。
- 2 コンピュータからケーブルを取り外します。

電源ケーブル

デバイスはさまざまな方法で電源をオンにできます。

- ・ 車両電源ケーブル
- ・ USB ケーブル
- ・ AC アダプター (別売アクセサリ)

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- ・ デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。
- ・ コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。

家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

車両電源ケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換する場合は、小さな部品をすべてなくさないようにし、それらを正しい場所に戻してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、車両用アダプターの先端にあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 先端 ① を反時計回りに回して、ロック解除します。



ヒント：先端部の取り外しには、硬貨を使用する必要がある場合があります。

- 2 先端部、銀色のチップ ②、およびヒューズ ③ を取り外します。
- 3 1 A または 2 A など、同じ電流の新しい速断ヒューズを挿入します。
- 4 銀色のチップを先端部にはめます。
- 5 先端を押し込み、時計回りに回して、車両電源ケーブル ④ にロックします。

RV 充電ステーションアクセサリの取り付け

注記

これらの設置要件に従わない場合、製品または車両が損傷する可能性があります。

- 車両の内装にドリルで穴を開ける前に、充電ステーションに適した取り付け位置を選択する必要があります。
- 取り付け面にマウントをしっかりと接続でき、取り付けねじが内装の内部の配線や機能に干渉しないことを確認する必要があります。
- 車両の内装材に適切な取り付けねじを使用する必要があります。付属のねじは、木またはグラスファイバー製の内装に取り付けることを想定しています。ねじを取り付ける前に、外装やその他のコンポーネントを損傷しないように、ねじの長さが正しいことを確認してください。

RV 充電ステーションアクセサリを取り付けるには、プラスドライバーと 1.5 mm (1/16 in.) ドリルビットの付いたドリルが必要です。

RV 充電ステーションアクセサリは、恒久的な壁掛け式のデバイス用充電ステーションを実現します。RV のリビングエリアでデバイスを使用したり充電したりできるようになります。

- マウントを取り付け位置に合わせ、6 つのねじ穴を使用してパイロット穴の位置に印を付けます。
- 取り付け面からマウントを外します。
- 内装材に適した 1.5 mm (1/16 in.) のドリルビットを使用して、印を付けた 6箇所にパイロット穴を開けます。

注記

マウント越しにドリルを使わないでください。マウントや内装が損傷する可能性があります。

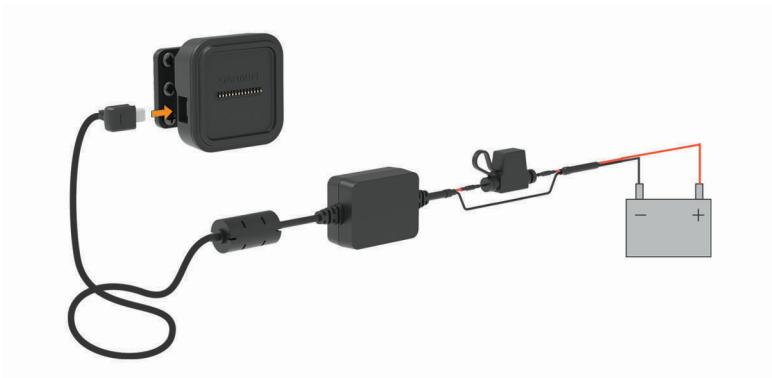
- ウォールマウントのねじ穴をパイロット穴に合わせ、6 本のねじを使用してマウントを内装に固定します。



- デバイスマウントのソケットをウォールマウントのボルトにカチっとはまるまで押し込みます。



- 裸線コネクタを RV バッテリーまたは 12 V 電源に配線します。
- 黒いワイヤをバッテリーのマイナス (-) 端子に、赤いワイヤをバッテリーのプラス (+) 端子に接続します。



8 電源ケーブルの mini-USB 端子を電源付きデバイスマウントに接続します。

9 ナビゲーションデバイスをデバイスマウントに置きます。

デバイス、マウント、吸着力アップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

1 デバイスの上部と下部をしっかりと持ちます。

2 マグネットから外れるまで、デバイスの下端を自分の方へ引きます。

デバイスを自分に対し垂直に引くと、マウントが吸着力アップから外れる可能性があります。

吸着力アップからマウントを取り外す

1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。

2 マウントのソケットから吸着力アップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着力アップを取り外す

1 吸着力アップのレバーを自分の方に倒します。

2 吸着力アップのつまみを自分の方に引きます。

追加の地図を購入する

1 デバイス製品ページ (www.garmin.com) にアクセスします。

2 [地図] タブをクリックします。

3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリーを購入する

- オプションのアクセサリーは、garmin.com または Garmin 販売店から入手できます。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。

2 乾燥した清潔な布で乾かします。

3 吸盤を取り付けます (車両への Garmin デバイスの取り付けと電源の供給, 3 ページ)。

運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない

最善の結果を得るには、車両マウントをきれいな状態に保ち、デバイスを吸盤の近くに配置します。

運転中にデバイスの位置が動く場合は、以下の操作を実行してください。

- 電源に接続されたマウントを吸盤アームから取り外し、ボールとソケットを布で拭きます。
ほこりなどの異物が入ると、ボールとソケットジョイントとの摩擦が減り、運転中にジョイントが動きます。
- ヒンジ付きのアームを、フロントガラスの角度で可能な限り吸盤に向けて回転させます。
デバイスをフロントガラスの近くに置くと、道路からの揺れや振動の影響が軽減されます。

デバイスで衛星信号を受信できない

- 位置情報サービスが有効になっていることを確認します。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- 車両電源ケーブルのヒューズを点検します ([車両電源ケーブルのヒューズを交換する, 59 ページ](#))。
- 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- 車両のヒューズボックスで、車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます ([ディスプレイ設定, 50 ページ](#))。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします ([ディスプレイ設定, 50 ページ](#))。
- 音量を下げます ([Garmin® の概要, 2 ページ](#))。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします ([ワイヤレスネットワークに接続する, 49 ページ](#))。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします ([デバイスの電源をオンまたはオフにする, 4 ページ](#))。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

録画したビデオがぼやけている

- カメラレンズをクリーニングします ([カメラレンズのクリーニング, 55 ページ](#))。
- カメラの前にあるフロントガラスをクリーニングします。
- カメラの前にあるフロントガラスの領域がフロントガラスのワイパーできれいになることを確認し、必要に応じてデバイスを移動します。

メモリカードが劣化して、交換する必要がある

すべての microSD メモリカードは、上書きが何度も繰り返されると損耗します。カードを定期的にフォーマットすると、耐用年数が延び、パフォーマンスが向上します。ダッシュカーナーは継続的に録画するため、メモリカードを定期的に交換する必要があります（[ダッシュカーナーのメモリーカードの交換](#), 11 ページ）。お使いのデバイスはメモリーカードのエラーを自動的に検出し、メモリーカードをフォーマットまたは交換する時期になると警告を出します。

メモリカードの耐用期間を延ばすには、以下の対応を実施できます。

- メモリーカードは 6 か月に 1 回以上フォーマットしてください（[ダッシュカーナーのメモリーカードのフォーマット](#), 11 ページ）。
- デバイスにメモリーカードエラーアラートが表示された場合は、まずメモリーカードをフォーマットしてから（[ダッシュカーナーのメモリーカードのフォーマット](#), 11 ページ）、必要に応じてメモリーカードを交換します（[ダッシュカーナーのメモリーカードの交換](#), 11 ページ）。
- 車両を使っていないときは、デバイスの電源をオフにします。

デバイスがイグニッション連動の車両電源コンセントに接続されていない場合は、ダッシュカーナーが不要な映像を録画しないように、車両を使っていないときはデバイスの電源をオフにしてください。

- 保存したビデオ映像をコンピュータに転送します。
メモリカードは、空き容量が多い方が寿命が長くなります。
- 大容量のメモリーカードを使用してください。
大容量のメモリーカードはあまり頻繁に上書きされないため、通常は長持ちします。
- 速度レーティングクラス 10 以上の高品質のメモリーカードを使用します。
- 交換用のメモリーカードは、高品質のメーカー評判の良い販売店から購入してください。

録画したビデオが途切れる / 不完全

- カメラおよびビデオの最適な撮影結果が得られるように、速度レーティングクラス 10 以上の高品質のメモリーカードを使用します。
低速のメモリーカードではビデオの録画速度に追いつかない場合があります。
- カメラへのワイヤレス接続を使用してスマートフォンでビデオを表示している場合は、ワイヤレス干渉がない別の場所でビデオを表示するか、ビデオをスマートフォンに転送してみてください（[ビデオのトリミングとエクスポート](#), 10 ページ）。
- 重要な記録をコンピュータまたはスマートフォンに転送し、メモリーカードをフォーマットします（[ダッシュカーナーのメモリーカードのフォーマット](#), 11 ページ）。
- デバイスにメモリーカードエラーアラートが表示された場合は、まずメモリーカードをフォーマットしてから（[ダッシュカーナーのメモリーカードのフォーマット](#), 11 ページ）、必要に応じてメモリーカードを交換します（[ダッシュカーナーのメモリーカードの交換](#), 11 ページ）。
- デバイスを最新のソフトウェアに更新します（[地図やソフトウェアの更新](#), 52 ページ）。

デバイスがスマートフォンに接続されません

- 設定 > Bluetooth の順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持っています。
- お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、スマートフォンとデバイスのペアリングを解除して（[ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する](#), 40 ページ）、ペアリングプロセスを完了する必要があります（[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 37 ページ）。

一部のスマートフォン機能が動作しない

お使いのスマートフォンをペアリングしたのに、一部のスマートフォン機能が動作しない場合は、問題を解決するために以下の措置を講じることができます。

- スマートフォンのアプリストアで、Garmin Drive アプリを最新バージョンに更新します。
- 使用する機能がデバイスまたはスマートフォンで有効になっていることを確認します ([Bluetooth 機能を有効または無効にする](#), 37 ページ)。

索引

記号

トラフィックカメラ, 表示 47
2D 地図表示 37
3D 地図表示 37

A

アイコン, ステータスバー 6
赤信号カメラ 13
アクセサリー 61
アクティブ車線案内 28
アプリ 5
アラーム音量 50
アラート 12, 13
 近接ポイント 48
 オーディオ 48

B

バックアップカメラ 56, 57. 参照項目 カメラ
場所 23
場所を検索する。16, 18-22 関連項目 位置
 住所 17
 交差点 23
 都市 35
 座標 23
バッテリー
 充電 52, 59
 問題 62
 最大化 62
ビデオ 10
 品質 62, 63
 保存する 9, 10
 記録 8, 9
 再生 9, 10
 削除 10

C

マップ, データフィールド 35
地図 20, 27, 33, 48
 データフィールド 28, 37
記号 28
購入 61
更新 52-54
ルートを表示する 28, 29
詳細度 48
テーマ 48
ツール 34
レイヤー 36
地図表示
 2D 37
 3D 37
直行ルートのナビゲーション 33

D

ダッシュカメラ 49, 63
 ビデオの録画 8, 9
 ビデオ再生 9
 位置合わせ 8
 オーディオの録音 8, 9
デバイスのクリーニング 55
デバイスのお手入れ 55
デバイスの取り付け 60, 62
 マウントから取り外す 61
自動車 3
吸盤 3
 吸着カップ 56, 61
デバイスを充電する 3, 52, 59, 62
デバイスをリセットする 51
出入口(サービスあり) 35
電源ケーブル 52, 59
 ヒューズ交換 59
 車両 3
電源キー 2, 4
電池, 充電 3, 60, 62

電話 64
 ペアリング 37, 38, 63
電話に応答する 39
電話をかける 39, 40
 電話に応答する 39
ディスプレイ設定 50
道路状況, 天気 44
ドライバーアラート 12, 13

E

衛星信号, 捕捉 4, 50
EULA 51

F

ファイル, 転送する 58
Foursquare 22

G

画面, 輝度 6
Garmin Connect 37
Garmin Express 55
 ソフトウェアを更新する 54
言語 50
[現在地の確認] 24, 25
Bluetooth 技術 37, 39, 63
 デバイスの取り外し 40
 電話とのペアリング 37
 ペアリングしたデバイスの削除 40
 有効にする 49
GPS 4
 シミュレーター 50

H

ハンズフリー通話 37
ヘッドセット, ペアリング 38
編集, 保存されたトリップ 46
メイン画面 5
 カスタマイズ 5
方向 29
方向転換地点 28
保存した位置 46
 編集 25
 カテゴリー 26
 削除 26
保存する, 現在地 25
ヒューズ, 交換 59

I

位置 17, 24, 47
 場所 23
 保存する 25
 最近検索した場所 24
 シミュレート 50
 検索対象 16, 23
 現在 24, 25
位置情報サービス 50
ID 番号 51
緯度 / 経度 23

J

ジャンル別施設(POI) 20-23
 場所 23
 HISTORY 21
時間設定 50
自宅
 位置を編集する 27
 移動 27
住所, 検索する 17

K

回避 32
 道路機能 32
 道路 32
 エリア 32
 無効化 33
 料金 31, 32
 削除 33
会話認識 42

カメラ

 赤信号 13
 バックアップ 57
 ダッシュカメラ 8, 49
 切り替え 57
 ペアリング 57
 スピード 13
ケーブル, 電源 59

警告アイコン 15, 16

検索バー 17

検索エリアを変更する 19

輝度 6

緊急時サービス 24

軌跡ログ, 表示 36

帰宅する 27

国立公園 21

この先 34, 35

 カスタマイズ 35

コンピュータ, 接続 58

高度運転支援システム(ADAS) 13

高度運転者支援システム(ADAS) 13, 14

交差点, 検索する 23

更新

 地図 52-54

 ソフトウェア 52-54

クイックサーチ 20

クリーニング, デバイス 55, 62

キャンパー, プロファイル 6-8

吸着カップ 56, 61

M

マニュアル 43
マウント, 削除 56, 61
マウントを取り外す 56, 61
メディア音量 50
メモリーカード 2, 11, 63
メモリカード 10, 58
 フォーマット 11
 挿入する 58
microSD カード 2, 58, 63
 挿入する 11
目的地 47. 参照項目 位置
 到着 29
myTrends, ルート 31
ミュート操作, オーディオ 43

N

ナビゲーション 23, 28, 29
 直行ルート 33
 設定 48

燃料, ガソリンスタンド 24

O

音量 50
音声コマンド 42
 使用的ヒント 42
 ウェイクアップフレーズ 42
 有効化 42
 ナビゲーションに使用 43
オーディオ, 近接ポイント 48

P

ペアリング
 電話 37, 63
 ヘッドセット 38
 ペアリングしたデバイスの削除 40
 取り外し 40
photoLive 47
 プロファイル, キャンパー 6-8

R

リセットする
 デバイス 55
 トリップデータ 36
ルート 26
 地図上に表示する 28, 29
 開始 18, 19, 26, 27

計算 **31**
計算モード **46**
形成する **30**
候補 **31**
myTrends **31**
ポイントを追加する **30, 47**
停止する **31**
ルート情報 **29**
ルートを形成する **30**
料金, 回避する **31**

S
サービス履歴
 編集 **45**
 カテゴリー **44, 45**
 記録 **44, 45**
 削除 **45**
サービスを検索する **21**
最近検索した場所 **24**
削除
 ペアリングした Bluetooth デバイス **40**
 サービスカテゴリー **45**
 サービスの記録 **45**
 すべてのユーザーデータ **51**
 トリップ **46**
サウンド **50**
制限事項, 車両 **6**
製品のサポート **43**
設定 **48-51**
設定を初期化する **51**
車両プロファイル
 乗用車 **7**
 キャンバー **6-8**
車両電源ケーブル **3**
ショートカット
 削除 **25**
 追加 **5, 25**
シミュレートされた場所 **50**
仕様 **52**
Smartphone Link **37**
ソフトウェア
 バージョン **51, 55**
 更新 **52-54**
走行履歴 **51**
スマートフォンの機能 **38**
 接続 **37**
スピードカメラ **13**
スリープモード **4**
車線逸脱警告システム (LDWS) **12, 14**

T
タッチスクリーン **6**
タッチスクリーンのクリーニング **55**
天気 **43**
 道路状況 **44**
 レーダー **44**
トラブルシューティング **61-64**
トラフィック **36, 41, 42, 49**
 地図 **36**
 代替ルート **31**
 事故 **36**
 カメラ **47**
 レシーバー **41**
 遅延の検索 **36**
取り外し, Bluetooth デバイス **40**
トリップ情報
 表示 **36**
 リセットする **36**
トリッププランナー **45-47**
 シェイビングポイント **46**
 トリップを編集する **46**
盗難, 回避する **55**
TripAdvisor **22**
ツール, 地図 **34**
通話 **39, 40**
 ダイヤルする **40**

電話に応答する **39, 40**
ミュート操作 **40**
通知音量 **50**
通知 **5, 38, 39**
駐車場 **18, 19, 23, 24, 29**

U
迂回路 **30**
運転方向 **29**
USB, 取り外し **58**

W
Wi-Fi, 接続 **49, 57**
ワイヤレスカメラ. 参照項目 カメラ
Wi-Fi **53**

Y
ユニット ID **51**

Z
座標 **23**
前方衝突警告システム (FCWS) **12, 13**

support.garmin.com

